

結成五十周年記念誌

墨田区少年団係連合会

児童憲章

昭和二十六年五月五日 制定

われらは、日本国憲法の精神にしたがい、児童に対する正しい観念を確立し、すべての児童の幸福をはかるために、この憲章を定める。

児童は、人として尊ばれる。

児童は、社会の一員として重んぜられる。

児童は、よい環境のなかで育てられる。

一、すべての児童は、心身ともに、健やかに生まれ、育てられ、その生活を保障される。

二、すべての児童は、家庭で、正しい愛情と知識と技術をもって育てられ、家庭に恵まれない児童には、これにかわる環境が与えられる。

三、すべての児童は、適当な栄養と住居と被服が与えられ、また、疫病と災害からまもられる。

四、すべての児童は、個性と能力に応じて教育され、社会の一員としての責任を自主的に果たすように、みちびかれる。

五、すべての児童は、自然を愛し、科学と芸術を尊ぶように、みちびかれ、また、道徳的心情がつかわれる。

六、すべての児童は、就学のみちを確保され、また、十分に整った教育の施設を用意される。

七、すべての児童は、職業指導を受ける機会が与えられる。

八、すべての児童は、その労働において、心身の発育が阻害されず、教育を受ける機会が失われず、また、児童としての生活がさまたげられないように、十分に保護される。

九、すべての児童は、よい遊び場と文化財を用意され、わるい環境からまもられる。

一〇、すべての児童は、虐待、酷使、放任その他不当な取扱からまもられる。あやまちをおかした児童は、適切に保護指導される。

一一、すべての児童は、身体が不自由な場合、または、精神の機能が不十分な場合に、適切な治療と教育と保護が与えられる。

一二、すべての児童は、愛とまことによって結ばれ、よい国民として人類の平和と文化に貢献するように、みちびかれる。

もくじ

児童憲章	1	墨少連五十年のあゆみ	13
もくじ	2	子ども会の活動	23
歴代会長・活動方針	3	ジュニアリーダーの育成と活動	55
ごあいさつ		子ども会活性化事業	61
墨田区少年団体連合会会長	4	スポーツ大会（バドミントン）	63
結成五十周年記念事業実行委員長	5	ロープジャンプX	64
お祝いのことば		少年キャンプ	66
墨田区長	6	街角RPG・あそびの博覧会	68
墨田区議会議長	7	朝日村わんぱく交流	69
東京都子ども会連合会理事長	8	資料	73
墨田区教育委員会委員長	9	あとがき	76
墨田区教育委員会教育長	10		
墨田区青少年委員協議会会長	11		
墨田区青少年育成委員会連絡協議会会長	12		



第1代
高橋 武平



第2代
磯 雄司



第3代
滝田 準



第4代
谷山 信之助



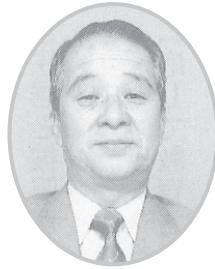
第5代
斉藤 茂雄



第6代
樋口 満



第7代
安藤 文雄



第8代
松原 慎治



第9代
林 恒雄



第10代
室田 満男



第11代
向山 政一



第12代
野城 東亜子



第13代
岡田 富美子



第14代
谷澤 忠之



第15代
渡辺 伸一



第16代
伊藤 政広



第17代
坂井 正廣

わたしたちは 子どもたちの幸福をねがい
みんなで協力して子ども会を守り育てよう

活動方針

- 子ども会の普遍化と活性化
- 子ども会の連絡と調整
- 未組織地域の組織化
- 東京都子ども会安全会に加入の推進
- 指導者、ジュニアリーダー育成と認定
- 遊び場確保の問題
- 教育委員会と事業の提携



結成五十周年を迎えて

墨田区少年団体連合会会長 坂井 正廣

このたび、墨田区少年団体連合会は結成五十周年を迎えることができました。

昭和四十年五月、当時の教育委員会・青少年委員の皆様のご力により百十一団体が集結し結成されたと伺っております。結成以来今日まで、歴代会長をはじめ関係役員の方々、行政・青少年委員等の関係する諸団体の皆様方に多大なるご支援、ご協力を賜りましたこと心より敬意を表し感謝申し上げます。

さて、結成当時の昭和四十年頃とは想像を絶するほど近年の子どもたちを取り巻く社会環境は大きく様変わりしております。子どもたちは異年齢での外の遊びが減り室内での個の遊びが増え、人の関わり方も情報機器に振り回されている感じがいたします。

特にインターネット・スマートフォン等に代表される情報機器の急激な進展普及は、大きな利便性をもたらす半面子どもたちにとっての有害情報を多く含んでおり、子どもたちが知らぬ間に犯罪や事件に巻き込まれてしまう危険性が指摘されています。

そうした状況の中だからこそ、すみだの子どもたちに関わりのある諸団体（青少年育成委員会連絡協議会・青少年委員協議会・小学

校PTA協議会・中学校PTA連合会）の皆様と連携を密にして情報を共有し、「地域に根ざした活動」の展開が必要と強く感じております。

そのためにも、結成三十周年事業として開催され現在も継続している「子ども会活性化事業」を拡充して、地域の子ども会活動を巡回支援し、地域体験・自然体験により子どもたちに「多くの人と人が交流することの素晴らしさ、目的を達成した時の感動を共有する喜び、そして自ら未来を切り開く力」を醸成する手助けをしていきたい思っております。

結成五十周年という大きな節目を契機に連合会としての役目を再認識し、役員一同「子どもは地域の宝、子どもたちの笑顔のために・・・」を念頭に置き、子ども会活動の支援を充実させたいと思っております。諸先輩方の残された大きな足跡を汚すことのないよう、小さくても確実な一歩を進んで行きたいと思えます。

今後とも、皆様方の力強いご指導とご支援をよろしくお願いいたします。



半世紀を超えて

結成五十周年記念事業実行委員長 稲垣 康充

墨田区少年団体連合会結成五十周年を迎えるに当たり、半世紀に及ぶ活動を継続された先輩諸氏と、活動の場を与えて頂いた各子供会の皆様や、墨少連から巣立って行ったジュニアリーダーと共に祝いたいと思います。

日頃より陰日向にご協力下さった、墨田区長様を初めとする行政機関の皆様、特に生涯学習課の職員の方々には、心より御礼申し上げます。

私事で申し訳ありませんが、親になってPTAに関わり改めて人生勉強の一步を踏み出しました。その後、青少年委員として初めて墨少連と出会い、夏休みのジュニアリーダー研修キャンプへ表敬訪問する機会がありました。

当時の育成委員長・米田豊さんは、年次休暇をまとめて取り、少年キャンプ・研修キャンプと一週間泊り込んで活動している姿に感動しました。

平成六年墨少連三十周年を期にはじまった子ども会活性化事業はロールプレイングゲームの形で行われました。参加者・スタッフ合

わせて八〇〇人以上のという地域ゲームのお手伝いもいたしました。

また、子ども会に出向いて育成者研修会を開催したり、すみだまつりに協力したりとその活動の広さと情熱の深さに感銘を受け現在に至りました。青少年委員時代の仲間は、地域の育成委員会や民生委員等多方面にわたり多数活躍して居ます。

この度の周年事業に際し、名前すら知らなかった先輩達の写真を拝見したり、地域の町会長さんが実は私達の大先輩で墨少連の活動にじん尽力された方だったりと、この半世紀の道のりの重さを感じています。

近年ジュニア卒業生が研修会の講師を務めてくれたり、墨少連の役員として協力してくれています。「継続は力なり」と申しますが先輩達の意味を後輩に引き継ぐべく役員一同もこれからも頑張っていきたいと思えます。

今後も皆様の尚一層の御指導を宜しくお願い申し上げます。



結成五十周年を祝して

墨田区長 山本 亨

墨田区少年団体連合会が、このたび結成五十周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

墨田区少年団体連合会の皆様には、昭和四十年の結成以来、地域の子どもたちの健全育成を願い、半世紀もの長きにわたり、子ども会との連携協力をはじめ、育成者に対する研修会、子ども会活性化イベント、少年キャンプ、さらにはジュニア・リーダーの育成活動において多大な御貢献をいただいております。また、この間、歴代の会長様をはじめ関係者の皆様方にも、多大なる御尽力をいただきましたことに、この場をお借りしまして、心より敬意を表するとともに厚く感謝を申し上げます。

さて、昨今の有害情報の氾濫等による子どもたちをめぐる環境の悪化や、いじめ、不登校など子どもたちが抱える問題の深刻化に伴い、家庭や学校だけでは対応できない様々な課題が生じてきており

ます。このような社会環境の中で、不安を感じている子どもたちも数多くいるのではないかと考えております。子どもたちが明るく未来への希望を持ち、地域の中で健やかに成長していくためには、皆様方のお力添えが益々重要になってきます。

区といたしましても、子どもたちが明るく豊かな心を持ち、健全に育つよう地域の皆様方をはじめ、関係機関と手を携えて、良好な環境づくりに努めていく所存でございます。

結びに、結成五十周年を契機とされ、墨田区少年団体連合会の活動が益々盛んとなり、子どもたちに夢を与え、様々な体験、経験の場を設けていただきながら、健やかな成長を支えていただきますようお願い申し上げます。併せて皆様方の御健勝と御活躍を心から祈念いたします。お祝いの言葉といたします。



お祝いの言葉

墨田区議会議長 樋口 敏郎

このたび、墨田区少年団体連合会が結成五十周年を迎えられましたことに対し、区議会を代表いたしまして、心からお祝いを申し上げます。誠にありがとうございます。

結成をされました昭和四十年は、前回の東京オリンピック開催の翌年でございました。

スポーツが盛んになった時期でもございますが、子どもたちは野球やドッジボールに興じ、メンコ遊びやゴム飛びなど、外で思い切り遊んでいた頃でもありました。

そのような時代に、地域で子ども会活動などに取り組んでおられた有志の方々が、子どもたちのより健全な育成を願って、会を結成され、活動を始められました。

それ以来、皆様方におかれましては、子ども会など地域の団体同士と協力、連携を取りながら活動を進められ、ジュニアリーダーや指導者の育成など、様々な取組みを展開してこられました。

今日までの五十年にわたる運営の中では、多くのご苦労があったことと拝察いたします。子どもたちの幸せを願い、子ども会を守り育てるために活動してこられました歴代の会長様をはじめ、役員の皆様方、各子ども会の育成などにあたられた皆様方の熱意とご尽力に対しまして、深く敬意を表する次第でございます。

当初から活動の柱として取り組んでおられるジュニアリーダーの

育成がございましたが、子どもたちは、お兄さん、お姉さんであるリーダーと一緒に遊ぶことで、年長者との接し方などを学ぶとともに、「自分もリーダーになりたい」など、子どもたちの自主性、自立性を育み、健やかな成長に果たす大切な役割があるものと存じます。

また、ジュニアリーダー自身が、子どもたち、大人たちとの交流を通じて成長するきっかけとなっていることは、何にも代えがたいものでございます。

今日子どもたちを取り巻く環境は、いじめや不登校問題、IT社会の進展に伴う様々な問題の発生、薬物乱用の低年齢化など、多くの困難な状況を抱えております。

今まで以上に、皆様方の活動は地域における子どもたちの健全育成に欠かせないものとして、区民の皆さんの期待はますます大きくなるものと存じます。

墨田区少年団体連合会におかれましては、今後とも、活発な事業展開をしていただき、明日を担う子どもたちの健やかな成長のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、墨田区少年団体連合会が、結成五十周年を契機とされ、さらに充実・発展されますようご祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。



結成五十周年を祝して

特定非営利活動法人 東京都子ども会連合会理事長 齋藤 武

本年、墨田区少年団体連合会が結成五十周年を迎えられましたこと心よりお喜び申し上げます。

貴少年団体連合会は、昭和四十年に結成されて以来、各地域の子ども会への支援を通して、子どもたちの健全育成の推進と発展向上のため大きな役割を果たしてこられました。

貴少年団体連合会は、坂井会長さんを始め、歴代役員の方々が一丸となって活動されていることは東京都子ども会連合会の中でも模範とされております。

さて、発足した昭和四十年頃の社会情勢と今日とはすっかり様変わりし、少子化や核家族化が進み街には子どもの遊ぶスペースすらなくなってしまうました。

そして何よりも子ども会の原点である「異年齢で遊ぶ」ことが無く、室内で一人遊び「ゲーム機」が増え、他者とのかわりを持たない少年期を過ごすようになり、就職しても人間関係に不慣れで直ぐに辞めてしまうなど社会問題となっております。

地域の子どもの会活動で様々な人達と交流することによって臆することのない人間形成が期待されますし、六年後には二度目の東京オリンピック開催が決定され、現在の小中学生が選手や大会のサポートとして中心的活躍が期待されます。

世界中から大勢の人たちが訪れ「おもてなし」のできる人の育成が望まれ、それには異年齢活動の中で培われていくもの信じております。

子ども会および団体相互の連携と親睦、子ども会指導者と育成者の研修、ジュニアリーダーの育成と組織および活動の充実など貴連合会の事業は、地域において子どもたちが仲間づくりを進めながら自主性や社会性を高め、さらに自然に接する活動やスポーツ・文化活動を通して創造性や活力を培うことが出来る大変重要な取り組みであり、貴連合会の活動が今後も期待される所です。

最後に、墨田区少年団体連合会のみならずのご発展を祈念申し上げます。お祝いの挨拶とさせていただきます。



おめでとうございます

墨田区教育委員会委員長 **横井 利男**

墨田区少年団体連合会が結成五十周年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。

連合会は、昭和四十年の結成以来、墨田区内の各地域の子供会の発展や、青少年の健全育成のために、献身的に活動を進めてこられました。

歴代の会長様をはじめお世話してくださった皆様方の、これまでの熱意とご努力に対し、心から敬意を表し感謝を申し上げます。

さて、本格的な少子高齢化社会を迎える中、地域における人間関係の希薄化が進み、青少年の社会性の獲得や自立がますます難しくなっております。

また、青少年が将来への夢や希望を持ちにくくなっている現状があります。それに伴って、不登校、ひきこもり、ニート等、社会生活を円滑に営む上で困難を有する青少年も増える傾向にあり、そのような若者への支援も大きな課題です。

このような状況下で、子供たちに、豊かな感性や情緒を育み、コミュニケーション能力や社会性を向上させるためには、異年齢による集団の中での交流を通して、多様な自然や文化を体験するような機会を充実させることが重要であると思われまます。

墨田区少年団体連合会の皆様には、これまでも単位子供会への支援活動をはじめ、ジュニア・リーダーの育成、少年キャンプの実施、育成者研修など、様々な活動を展開し、子供たちに必要な体験をする機会をつくっていただいておりますが、結成五十周年を機に、墨田の子供たちが、望ましい能力を身につけ、自らの力で夢を実現できるよう、安全に留意しつつ、より一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

墨田区少年団体連合会の更なる飛躍・発展を期待し、関係する皆様のご健勝をお祈りいたします。



お祝いの言葉

墨田区教育委員会教育長 横山 信雄

墨田区少年団体連合会が昭和四十年に結成されて以来、地域の子どもたちの健全な成長を願って活発な活動を推進されてきました。そして、ここに結成五十周年を迎えられましたことに心からお祝い申し上げます。

歴代の会長様をはじめ関係者の皆様には、子どもたちを取り巻く環境が刻々と変化する中で、その時々々の要請に応じた活動等に多大なるご尽力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

昨今、子どもたちを取り巻く環境は、高齢化・核家族化の進行、情報化社会の進展などにより大きく変化しています。近年では、特にスマートフォン急速な普及により、インターネットを介した新たなコミュニティが構築され、私たちの生活に大きな影響を与えています。一方で、子どもたちの健全な成長を阻害するおそれのある有害な情報が氾濫し、様々なサイトを通じて子どもたちが犯罪に巻き込まれるトラブルも多く発生しています。

このような時代において、次代を担う子どもたちが健やかに成長していくためには、家庭・学校・地域・行政がお互いに連携を深め協力しあうことが、これまで以上に強く求められています。

墨田区少年団体連合会の皆様には、これまでも、青少年育成委員会、青少年委員、PTAなどとの連携強化を図りながら、各地域の子ども会の活性化や育成者の研修、さらにはジュニア・リーダーの育成活動などに積極的に取り組み、子どもたちの健全育成にご尽力をされておりますことに、改めて深く感謝申し上げます。

墨田区少年団体連合会が、五十周年を契機に、次代を担う子どもたちの未来のために、今後、益々のご発展とご活躍をされますことをご祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



墨田区少年団体連合会結成五十周年を祝して

墨田区青少年委員協議会会長 米田 佳代子

このたび、墨田区少年団体連合会が結成五十周年という佳節を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

毎年のように目まぐるしく変わる社会情勢や教育行政の中で、子ども達を取り巻く環境も年毎に変化しています。そして、少子化や地域の繋がりの希薄さが叫ばれるようになって幾久しくなります。その様な状況の中で、墨田区内の子どもの向上発展と親睦友好を図ることを目的として活動していること、また、ジュニアリーダーの育成・実施・派遣、子ども会活性化事業として『ロープジャンプX大会』や『小学生バドミントン大会』を開催するなど、未来輝く墨田の担い手となる子ども達を多数輩出されていますことに厚く敬意を表し感謝申し上げます。墨少連で活躍した子ども達が『墨少連』を巣立って行く時に、『墨少連』を心の故郷にして、若き日の思い出となることを切に願っています。

二〇一二年のT O K Y Oスカイツリー開業に伴う国際観光都市『すみだ』。二〇二〇年に開催されるT O K Y Oオリンピック・パラリンピック。次世代の多くの墨田の若者たちに大きな期待が寄せられます。その様な青少年たちと深い関わりを持つ墨田区少年団体連合会と青少年委員協議会が互いに切磋琢磨しコミュニケーションを取りながら、生まれ育ったこの墨田の街が心豊かな青少年の成長の場となり、人と人との支え合って生きて行く環境作りの一端を担って行きたいと思っています。

結成五十周年を契機として、子ども会活動・ジュニアリーダー育成に根差した墨田区少年団体連合会としてさらに発展されますことを祈念いたしました。お祝いの言葉といたします。



半世紀から一世紀をめざして

墨田区青少年育成委員会連絡協議会会長 田口 武司

墨田区少年団体連合会の結成五十周年おめでとございます。

私も二十数年前に子ども会の会長だった関係で、毎月一回業平小学校での常任理事会（だったと思います）に出席していたこともあり、墨少連とは少なからぬ縁があります。

当時は墨少連の役員に子ども会の現役の方があまりいないこともあり、会議に出席しても内容が自分達とかけ離れている感があり、子ども会保険加入のために出席している有様でした。

子どもが小学校を卒業しやや疎遠になりましたが、二年前の小学校PTA協議会の総会で坂井会長と席が隣り合わせになり、子ども達の事に関して話し合う機会を得ました。

ちょうどその頃、青少年委員協議会や小中のPTA協議会・連合会と育成委員会協議会とで子ども達を取り巻く問題について懇談会を開催しようとの機運が高まってきている時期だったこともあり、墨少連にも参加を打診致しましたところ快諾をいただき、区内の子どもに関する五団体で構成する「五者懇」へと発展する事になりました。

それ以降、墨少連の皆様と総会や健全育成区民大会など、相互に出席するなどの交流と連携を少しずつながら進展させ、今日にいたっております。

墨少連の五十年間のあゆみに敬意を表するとともに、これからも子ども達の育成の担い手となっていただくことへの期待と私の子ども会時代の反省を込めて、敢えてひと言申し述べさせていただきますと、どこの組織も役員のなり手がいないのは共通の悩みですが、墨少連の役員に現役の子ども会の役員か経験者をもう少し取り込んでいただければ、今以上に地域に根ざした活動を展開でき、私たちと一層の連携が深まるものと思われまます。

墨少連の皆様には、これからも墨田区の子どものために半世紀から一世紀どころか、間もなく開催される浅草四万六千日にも増した先の先までのご活躍とご発展を心よりお祈り申し上げますとともに、子どもに関する諸団体と連携し、地域の方々と協同して歩んでいただけることをご期待申し上げます。五十周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

墨少連五十年のあゆみ

昭和四十年 (1965)

五月二十一日 墨田区少年団体連絡協議会結成

略称「墨少連」(百十一団体)

初代会長に高橋武平就任

八月十一日 第一回JL講習会(会場/本所中学)

昭和四十三年 (1968)

二月 第二回バドミントン・卓球大会開催

九月十五日 墨少連だより第一号発行

ガリ版刷りであった

昭和四十四年 (1969)

二月二日 墨田区ジュニア・リーダーズ

・クラブ発足

十月二十六日 第二回墨少連大運動会の開催

(会場/墨田体育館)

昭和四十五年 (1970)

四月二十三日 墨田区少年団体連合会に改称

隅田川ライオンズクラブより

団旗の寄贈を受ける

八月一〜七日 第一回少年キャンプ実施

(小林牧場)

昭和四十六年 (1971)

六月六日 東京都子ども会連合会に加盟

JL育成が墨少連主体の運営体制に



終戦直後の昭和二十六年には二十の子ども会が誕生し活動が始まる。
墨少連が結成されて今も受け継がれている「七つの基本方針」を提唱した。

▲墨少連だより第一号 (S43)

▲今も使われている団旗



昭和四十七年頃の教育キャンプ



アイビースタイル大流行
人類初の宇宙遊泳

ビールズ来日 (S41)

小六戦前並みの体格に戻る

(S42)

深夜放送の人気

大学闘争広まる

アポロ十一号月面着陸

新宿西口地下フオーク集会

大阪万国博覧会

光化学スモッグ

ドルショック/1\$3008円

ボーリングブーム

アンノン族まちへ

昭和四十七年（1972）

三月 墨小連広報映画の製作・発表

「墨田区のJL」「キャンプと運動会」

全子連安全会加入

昭和四十九年（1974）

十一月二十三日墨少連設立十周年記念式典開催

（会場／アサヒビアホール）

昭和五十年（1975）

十一月三日 設立十周年記念墨少連体育祭開催

（会場／錦糸公園グラウンド）

昭和五十四年（1979）

十月五日 墨小連安全会規約制定

昭和五十五年（1980）

四月二日 設立十五周年記念座談会実施

昭和五十九年（1984）

十一月十六日 設立二十周年記念式典・祝賀会開催

（会場／区民会館）

昭和六十年（1985）

三月二十六日 JL宿泊研修（水元青年の家）

五月六日 すみだ子どもまつりに参加

昭和六十一年（1986）

一月十日 少年キャンプ文集発行

「自然と子どもたち」



▲昭和五十五年教育キャンプ

（小林牧場）



▶設立二十周年記念誌



設立十周年記念祝賀会▼

沖縄本土復帰

横井軍曹グアムより帰る

オイルショック（S48）

トイレットペーパーパニック

（S48）

ベトナム戦争終結

モナリザ公開

スプーン曲げが話題に

沖縄海洋博覧会

ベトナム戦争終結

インバーダーゲーム流行

竹の子族ファッション

デイズニールランド開園

ルービックキューブ売れる

科学万国博覧会

チェルノブイリ原発事故

昭和六十二年 (1987)

三月二十五日 山形・朝日村の子どもたちを迎えて

宿泊交流(都市農村交流促進事業)

八月七〜九日 すみだの子どもたちが朝日村へ

ホームステイ(都市農村文化交流)

以降「わんぱく交流」として継続

昭和六十三年 (1988)

六月二十八日 江東五区少年団体連絡協議会主催

墨田区開催(会場「すみだ産業会館」)

平成元年 (1989)

十月三日 JLC活動が都知事表彰受賞

十一月十二日 設立二十五周年記念式典開催

(会場「曳舟文化センター」)

周年記念誌発行「はばたき」

平成二年 (1990)

八月七日 青少年海外研修に推薦派遣

(オーストラリア他)

十一月三日 墨田区新庁舎オープン式典参列

平成三年 (1991)

一月四〜七日 山形・朝日村の冬へわんぱく交流

八月四〜六日 夏の墨田へわんぱく交流朝日村より

平成四年 (1992)

四月二十八日 セミナーハウス開所式



▶ 都市農村交流事業を伝える地元新聞



JL宿泊研修で利用した
すみだセミナーハウス▼
(今は解体され存在せず)

国鉄分割民営化

平成始まる

東西ドイツ統一

ソ連邦の消滅

平成五年 (1993)

十月二十六日 江東五区少年団体代表者会議主催

(会場/曳舟文化センター)

平成六年 (1994)

一月三十一日 設立三十周年記念座談会実施

五月二十九日 設立三十周年記念式典・祝賀会開催

(会場/すみだ中小企業センター)

十月二日

子ども会活性化推進事業スタート

「宝船の謎」町角利用RPG

平成七年 (1995)

三月十一日 子ども会ネットワーク会議

十月二十二日 子ども会活性化推進事業

「サンタを救え」実施

平成八年 (1996)

三月九日 子ども会ネットワーク会議

十月二十日 子ども会活性化推進事業

「VSくろつち最後の決戦」実施

平成九年 (1997)

三月一日 子ども会ネットワーク会議

九月二十三日 交通安全全区民大会

十月十九日 子ども会活性化推進事業

「浦島太郎からの手紙」実施



子ども会活性化推進事業として
 発案した町角利用RPG初年度の
 様子を伝える「墨少連だより」



▶ 設立三十周年記念誌

Jリーグ人気

阪神淡路大地震

平成十年 (1998)

三月七日 子ども会ネットワーク会議

十一月八日 子ども会活性化推進事業

「迷探偵ぼくでん」実施

平成十一年 (1999)

十一月七日 子ども会活性化推進事業

「魔界の決闘」実施

十一月二十三日 青年の広場ソフトボール交流会

平成十三年 (2001)

十二月～三月 子ども会実態調査

(子ども会活性化推進事業)

十二月二日 子ども会活性化推進事業

「レスキューすみだ・君が命をつなげ」実施

平成十四年 (2002)

七月十八日 日中青少年キャラバン交歓会

(会場/すみだリバーサイドホール)

十一月十七日 子ども会活性化推進事業

「あそびの博覧会」実施

(会場/すみだ中小企業センター他)

十二月七日 山形朝日村父母の会交流研修

平成十五年 (2003)

五月十二日 すみだやさしいまち宣言会議

十月二十五日 江東五区少年団体代表者会議

最後の町角RPG子ども会活性化推進事業

「レスキューすみだ・君が命をつなげ」

遊び主体の事業が区の助成目的に添わないとの意見が出て
防災と災害復旧をテーマに企画したもの



▲号外発行



長野オリンピック

小柴昌俊氏にノーベル物理学賞
田中耕一氏にノーベル化学賞

十二月十四日 子ども会活性化推進事業

「あそびの博覧会Ⅱ」実施

(会場／すみだ中小企業センター他)

平成十六年 (2004)

二月二十一日 江東区少年団体連合四十周年式典

五月二十九日 設立四十周年記念式典・祝賀会

(会場／すみだ中小企業センター)

十一月七日 子ども会活性化推進事業

「あそびの博覧会Ⅲ」実施

(会場／旧曳舟中学校)

平成十七年 (2005)

三月十三日 スポーツ大会(バドミントン)

(会場／墨田区体育館)

三月二十五日 「墨少連だより」第65号発行

十一月二十七日 子ども会活性化推進事業

「あそびの博覧会Ⅳ」実施

(会場／横川小学校)

平成十八年 (2006)

二月十～十二日 全国子ども会中央会議参加

(会場／オリンピックック青少年センター)

三月二十五日 「墨少連だより」第66号発行

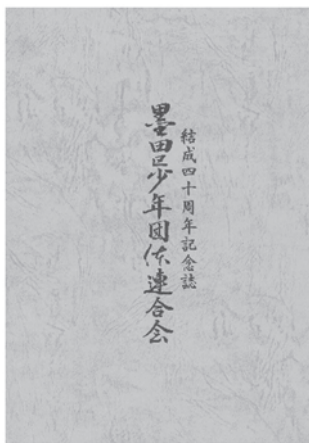
十一月二十六日 子ども会活性化推進事業

「あそびの博覧会Ⅴ」実施



▲日中青年キャラバン
交歓会で「J」はひらきぬる

あそびの博覧会風景▼



▶設立四十周年記念誌

新潟中越地震

JR福知山線脱線事故
愛知万博開催

三月十四日 スポーツ大会（バドミントン）

（会場／墨田区体育館）

五月二十九日 「墨少連だより」第71号発行

八月六～八日 わんぱく交流IN墨田

八月六日 鶴岡市育成者との懇親会

十一月十三日 子ども会活性化推進事業

「第一回ロープジャンプX墨田区大会」実施

（会場／墨田区総合体育館）

平成二十三年 （2011）

一月八～十日 ふるさとわんぱく村 鶴岡市

三月五日 スポーツ大会（バドミントン）

（会場／墨田区総合体育館）

十一月二十日 子ども会活性化推進事業

「第二回ロープジャンプX墨田区大会」実施

（会場／墨田区総合体育館）

平成二十四年 （2012）

三月十七日 スポーツ大会（バドミントン）

（会場／墨田区総合体育館）

十一月二十三日 子ども会活性化推進事業

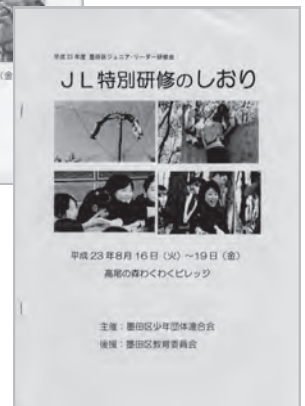
「第三回ロープジャンプX墨田区大会」実施

（会場／墨田区総合体育館）

▼子ども会活性化推進事業「ロープジャンプX墨田区大会」



▶ J.L特別研修会



記録的な猛暑

東日本大震災発生

なでしこジャパン、ドイツW杯で優勝

東京スカイツリー開業
金環日食

平成二十五年 (2013)

三月十七日 子ども会活性化推進事業
スポーツ大会(バドミントン)
(会場/墨田区総合体育館)

八月十四〜十七日 J.L特別研修会 高尾の森

十月二十六日 江東五区少年団体代表者会議 墨田区

十一月四日 子ども会活性化推進事業

「第四回ロープジャンプX墨田区大会」実施
(会場/墨田区総合体育館)

平成二十六年 (2014)

二月二十三日 子ども会活性化推進事業

スポーツ大会(バドミントン)
(会場/墨田区総合体育館)

十月二十六日 結成五十周年記念事業

「あそびの博覧会」実施
(会場/横川小学校)

十一月十六日 子ども会活性化推進事業

「第五回ロープジャンプX墨田区大会」実施
(会場/墨田区総合体育館)

平成二十七年 (2015)

二月二十二日 子ども会活性化推進事業

スポーツ大会(バドミントン)
(会場/墨田区総合体育館)



結成五十周年記念事業「あそびの博覧会」



江東五区少年団体代表者会議

▼J.L特別研修会 高尾の森



富士山が世界文化遺産に決定

子ども会の活動

緑二子供会

加入者数

151

緑二子供会では、26年度現在、125軒151名の会員が在籍している緑町内でも最大在籍数の子供会です。

バスハイクや盆踊り、プール開放、祭礼など、盛りだくさんのイベントに沢山の子どもたちが集まり、どのイベントも賑わいを見せています。

主なイベント

- 5月 クリーンキャンペーン
- 6月 バスハイク(ディズニーランド)
- 7月 盆踊り、ラジオ体操、プール開放
- 8月 祭礼
- 12月 町内おもちつき大会
- 2月 6年生を送る会



石原一丁目子供会

加入者数

86

石原一丁目子ども会は二葉小学校と外手小学校の合同の子供会です。

5月の「徳ノ山稲荷神社」のお祭り、9月の「牛島神社」のお祭り後の夜店、12月のお餅つきとクリスマス会等たくさんのイベントを行っており、子どもたちもたくさん参加してくれます。



本所三丁目子供育成部

加入者数

67

本所3丁目町会子供育成部

(本所3丁目町会の中の部です)

☆活動内容

- ・ **レクリエーション**…子供と保護者がバスで、関東近郊へ出かけます。
 - ・ **外手連合子供会の行事への参加**
盆踊り…外手小学校庭で7月の第3土曜日の夕方から模擬店を出店します。
 また、盆踊りには子供達が太鼓を叩きます。
レクリエーション…外手小PTA主催のイベントに合同で参加。
 - ・ **夏季ラジオ体操の参加**…若宮公園にて夏休み2週間程参加しています。
 - ・ **牛嶋祭礼への参加**…子供達の山車やその準備。2日目は模擬店を行います。
 本三のみの奉納踊りでは子供達の本三太鼓が活躍します。
 - ・ **もちつき大会**…育成部が準備をし、町会全体で行います。
 - ・ **歳末パトロール**…年末に町会の方々と子供達が2日間、夜見回りをします。
 - ・ **入卒お祝い会**…4月から入学する1年生と在校生が共に交流します。
 - ・ **総会**…1年間の活動・会計報告をし、子供が中学卒業の保護者はこの総会で育成部卒業です。
- ☆その他、防災訓練やクリーンキャンペーン等の町会行事に参加。毎月の定例会や、町内にある老人ホームとの交流として子供達の太鼓の披露も行っております。

<平成27年2月現在 子供/小学生44名 中学生23名/保護者51名>



ラックの空で太鼓の披露



牛嶋祭礼の山車

石四子供会二葉地区部

加入者数

72

石四子供会二葉地区部は、現在72名の児童が在籍しております。

春と秋には、町会の方々と一緒に町内クリーンキャンペーンを行い、朝から張り切って家族とゴミを集める子供たちの姿が微笑ましく思えました。

夏休みにはラジオ体操が始まり、柳通りで老若男女が汗を流して体操しました。

毎年恒例のサマーレクリエーションは、石原四丁目三部合同で東京ディズニーランドへ行きました。付き添いの私たち大人には堪える夏の暑さにも負けずに、子供達は笑顔いっぱい楽しんでいました。

8月には、町内にある九重部屋での相撲部屋開放。稽古したり、ちゃんこを頂いたり、お風呂へ入ったり、下町ならではの普段できない経験をすることができました。

9月の牛嶋神社の祭礼では、山車を引いたり、小神輿を担いだり、夜の盆踊りまで一日中親子共々楽しむことができました。

12月は、会館でのクリスマス会。お菓子を食べたり、ビンゴゲーム・じゃんけん大会をして盛り上がりました。

これからも、地域との関わりを大事にし、私たち大人が子供達を見守り笑顔あふれる子供会でありたいです。

亀三子供会

加入者数

81

町内の子供たちどうしや、大人たちとの絆を深めるために、毎年、七夕祭りや北斎祭り、バスハイク、餅つき大会、クリスマス会などを企画、立案しております。

七夕祭りでは子供たちが町内の方々と一緒になって、会館の飾り付けや、昔遊びを教わったりしております。

年に一度のバスハイクでは各家庭では計画できないような、地引網体験・簾立て漁・屋形船を利用したのハゼ釣り等を実施し、毎年多くのご家庭や子供たちに参加いただいて町内での親睦を深めております。



亀三会館



北斎祭り



遊び風景



ハゼ釣り

太平三丁目子供会育成会

加入者数

26

太平三丁目子供会

◎ 年間活動計画

- 4月 定期総会・懇親会
- 9月 太三フェスティバル
- 11月 秋のレクリエーション
- 12月 歳末夜回り
- 3月 歓送迎会・反省会
- 4・6・8・10・12・2月
(第3日曜日)
資源回収

- 秋のレクリエーション
- ・東京ディズニーランド
- ・東武動物公園
- ・工場見学 など...

少ない世帯数ですが、
協力して楽しく
活動しています。



吾妻橋一丁目若竹子供会

加入者数

63

吾妻橋一丁目

若竹子供会

吾妻橋一丁目若竹子供会は、同じ地域に住むさまざまな年齢の子ども達が、年齢の枠を越え楽しく交流できるように、お母さん、お父さん達で協力しながら、いろいろな活動をしています。

昨年度より横川小学校の学区になり、連合子供会の行事も増えさらに楽しい活動が増えました。これからも子ども達の笑顔のために、明るく元気な子供会にしていきたいと思っています。

～平成27年度活動予定～

- 4月 ボーリング大会
- 7月 夏休みラジオ体操
- 8月 どじょうつかみ大会 ※
- 9月 牛嶋神社祭礼・縁日
- 11月 スポーツラリー ※
- ドッチボール大会
- 1月 餅つき会



新入生歓迎ボーリング大会の様子です

※印は横川連合子供会の行事

太平2丁目若草子供会

加入者数

31

平成26年度は、27世帯・子ども会員32名（幼児1人）で活動してきました。どの行事でも子どもたちの元気な声を聞くことができました。近年は、春に新入生歓迎会、冬にお楽しみ会、3月に6年生を送る会を開催しています。新入生歓迎会・お楽しみ会では異年齢交流が楽しめるゲームを企画し、6年生を送る会は、東武ホテルのディナーbuffetでゆっくり食事を楽しみ、また会員同士の交流の場としても活用しています。

写真は26年度のお楽しみ会の様子です。当日行ったゲームの中から盛り上がったものをご紹介します。

○ジャンケンゲーム

お菓子を紐をつけて、勝った人がもらえます。最後に勝ち上がった2人のじゃんけんはドキドキしている様子でした。負けてしまえばもらえませんから！

○風船名前探しゲーム（水風船）

水風船（水なし）をふくらませてマジックで名前を書き、中央に集めて自分のチームの子の名前の書いてある風船を探して、早く集めたチームの勝ちです。みんなすごい勢いで風船を探しに行くので風船が舞い上がって大騒ぎ！お互いの名前を覚える機会にもなりました。

○ピンゴゲーム

様々なお菓子を用意してステージに並べます。みんなお目当てのお菓子を目指してあとは数字のみが知る。早くピンゴになった子、なかなかピンゴにならない子。いろいろな反応が見られました。また、クリスマスも近いので、少し豪華な文房具セットをプレゼントしました。

今後も子供たちの居場所作りのため、会員の保護者のご協力、また地域の皆様のご支援をうけ活動していきたいと思えます。



横二仲よし子供会

加入者数

24

柳島小学校地区の横二仲よし子ども会です。平成26年度の会員数は、18世帯23名です。

いつも仲良く楽しく遊び、勉強や奉仕活動を通して強く、明るく、世の中で役に立つ子どもになるよう、努力することを目標としています。

主な活動として・・・

- 7月 ラジオ体操
- 8月 柳島小学校での合同ラジオ体操参加
- 9月 祭礼・町会家族慰安会
親子遠足（キッザニア東京）
- 3月 町内防災訓練
歓送迎会



資源回収の様子



町会家族慰安会の様子



祭礼（緑日）



祭礼（子供神輿）

その他の活動として・・・

- 毎月第4土曜日 資源回収
- 父母による登校時の旗当番、
- 校庭開放当番

横川三丁目南部子供会

加入者数

12

横川三丁目南部子ども会には、墨田区立柳島小学校に通っている小学2年生から6年生までの男女12名の子ども達と。その家族が入会しています。皆本当に仲良しで、笑顔が絶えない元気いっぱいの子ども会です。

横川三丁目南部子ども会では、年間を通して、クリスマス会や新年会、6年生を送る会といった各種の行事を行うとともに、地域の祭礼や横川三丁目ファミリーフェスティバルなどの町会の行事への協力、毎月の資源回収のお手伝いなど、地域に密着した様々な活動についても精力的に行っており、子どもも大人も力を合わせて、大活躍しています。

子どもたちが参加する様々な行事の中でも、地域の祭礼の一環として天祖神社で行われる流鏝馬（やぶさめ）式は、天正年間（1573年）の織田信長の時代から400年以上も絶やすことなく行われてきた伝統のある行事です。流鏝馬式では、鮮やかな緑色の伝統装束と黒の烏帽子（えぼし）を身に付けた子ども達が真剣な面持ちで、数メートル先の的をめがけて矢を放ちます。大人たちが見守る中、緊張しながら矢を放つと、無事に的に命中し、子ども達は満足そうに笑顔を浮かべていました。

横川五丁目南部子供会

加入者数

46



構成：34世帯、43名(平成27年1月1日現在)

平成26年度活動記録

- ・5月18日(日) クリーンキャンペーン
- ・5月26日(月) バスハイク (キッザニア)
- ・7月22日(火)～8月1日(金) ラジオ体操
- ・9月6日(土) ふれあいえんにち
- ・12月14日(日) 町内おもちつき
- ・3月26日(木) 歓送迎会 (ボーリング・食事会)
- ・3月29日(日) 定期総会

横川五丁目東部町会若葉会

加入者数

51

横川五丁目東部町会 若葉会



『遊びの博覧会』 参加しました
ロープジャンプX、楽しかったです♪

ボウリング大会、盛り上がりました
★★★



町会主催の防災訓練に参加しました
はしご車にも乗ったよ



クリスマス会ではbuffetランチの後、
ジュニアリーダーさんと遊びました。
他にももちつき、ふれあいまつり、
ラジオ体操など、町会と連携した
イベントにも積極的に参加しています



業平四丁目南部子供会

加入者数

42

業平四丁目南部町会 子供会の紹介をいたします。

当子供会は、業平四丁目南部町会在住の四歳から中学生までの幼児・児童・生徒を主な会員とし、その保護者を含め、町会と連携し、活動をしています。

ここ数年の活動では、年に1～2回、地元に近い水族館やプラネタリウムなどの施設を利用して、楽しんでいます。

日ごろとは違い、家族より大きな輪で出かけていますので、毎回、子供達は、イベントに喜んで参加しています。

また、町会とは年間を通して協力し合い、町会行事にも参加しております。

特に9月の祭礼では、御神輿を担いだり、山車をひいたりして、楽しんでいます。

夜の踊りでは、小学4年生から中学生までの有志による太鼓部が活躍しています。

八木節、すみだ音頭、東京スカイツリー音頭など8曲をメロディに合わせて、太鼓をたたいています。周りで踊っている方々には、評判が良く、近隣の方々の皆様とも一緒に盛り上がっています。

このように、当子供会は、町会や近隣の方々と交流を深めながら、日々、活動しています。



業一若竹子供会

加入者数

90

皆様 こんにちは！ 業一若竹子ども会です。

当子ども会は業平小学校地区子ども会の中で一番大きな子ども会となります。

大所帯の為大変な事もありますが、とても活気がある子ども会です。

学校や地域の皆様のご協力を頂き、子ども達を見守ると共に、友達の輪を広げるべく楽しいイベントも行っています。

小学校生活での思い出の一部として心に残ってくれたら幸いです。

主なイベント

- ・ 児童総会
- ・ 新入生歓迎会
- ・ 夏のイベント
- ・ ラジオ体操
- ・ キャンプ
- ・ 祭礼縁日
- ・ 連合子ども会による行事
- ・ 卒業生送別会



バザー模擬店



祭礼縁日



祭礼



連合防災訓練

その他 町会や墨少連主催のイベントにも参加させて頂いています。

業平二丁目町会子供会

加入者数

5

墨田区少年団体連合会 創立50周年 おめでとうございます。

当会は地理的に墨田区の中心に位置する業平二丁目町会に属し、東京スカイツリーに隣接した地域で交通の便も良く近年周辺ではマンション建設も進んでいますが、当町会は古くからお住まいの方が多く、現状として少子高齢化が進んでおり子供会会員も減少し続けています。確かに会員減少は寂しいことではありますが、その反面コンパクトな組織ゆえ絆も深く親同士も密に連絡を取り合い、町会最大の行事である秋季祭礼にも積極的に参加、子供たちのネットワークでお友達にも協力頂き、子供神輿渡御や山車巡行では大切な役目を担い、大人に負けない活気で祭りに華を添えています。また祭礼の夕方開催する子供会主催子供縁日では実施に当たり親同士打ち合わせを重ね小さな規模でも手作り感に満ちた心温まるイベントとして子供たちから喜ばれ、町会からも高い評価を頂いております。

子供会として町会活動に参加することで年齢の壁を超え、地域コミュニティの担い手として、子供たちの助け合いの心、地域を愛する心を育てています。いつの日か「地元に恩返しをしよう」という気持ちの持てる人材育成、業平二丁目の伝統と文化の継承の出発点として、その絆、精神が「業平二丁目町会子供会」に今まで同様、これからも受け継がれて行くことを確信しています。

業二南子供会

加入者数

21

業二南子供会は、平成26年度 21名の会員数でしたが、平成27年度には約半数になってしまい、寂しさを感じます。

これまでの業二南子供会の年間行事としましては、夏のラジオ体操はもとより、レクリエーションとして、7月には夏季行事、12月にはクリスマス会、3月には歓送迎会などを行っております。毎回、子ども達の喜ぶ笑顔を見たいと、育成者が楽しい企画を考え、様々な活動を行っています。例えばボーリング大会やドッチビー大会、また、集会所でのクリスマスリース作りやクレープ作り、ゲームなどをしたりして楽しいひとときを過ごしています。

そして、毎年9月には町会の役員の方々をはじめ、町内の皆様のお陰で祭礼・子供天国などが盛大に行われています。

少子化や核家族化の影響により、お年寄りと子ども達の交流が少なくなる中、業二南子供会では、世代間交流活動も行っており、地域の方々から昔ながらの遊びなどを学び、三世代の交流も深めています。

これからも地域の皆様との交流を大切にしながら、子ども達の笑顔が沢山見られるよう、育成者一同頑張っていきたいと思っております。



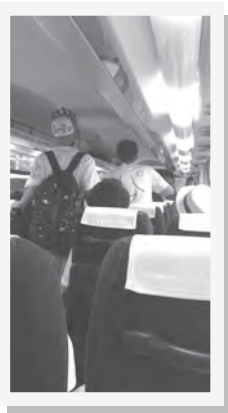
業平三丁目南子供会

加入者数

29

私達の子供会はとても小さいですが、とっても住みやすく、とっても気に入っています。

今年は四年生の有志で夏のキャンプ、と遊び博覧会、橋めぐりウォークラリー体験をさせていただきました。普段とは違う眺めでいつもの友達と過ごす事がとっても心地よくまた、暖かい気持ちになるのを感じました。今回体験する中で、これから一生お付き合い可能な地域の有志のあ
る、少ない人と仲良く、心通うお付き合いが墨田区少年団体連合会のおかげでできる事がわかり
良かったと思っています。また、サブリーダーさんの有志に何度も感動しました。



業平四丁目子供会

加入者数

19



集団登校

旗当番は登校班を誘導して大通りを渡ります。

リサイクル

新聞、雑誌、ダンボール、アルミ缶を回収して委託業者に引き渡します。

祭礼

秋に行われる牛島神社の祭礼で夜店を開きます。焼きそば、フランクフルト、ジュース、輪投げなど子供会主催で準備から行います。

お楽しみ行事

☆夏休み行事 …… 夏休みに担当者が企画をしてボーリングや映画鑑賞など親子で楽しめる行事を行っています。

☆夜警 …… 冬休みの1日、親子で町内の夜警を行います。豚汁や、焼もちを準備してふるまいます。

☆子ども歓送迎会…卒業生、新入生の歓送迎会を企画、開催します。

学校関連

☆交通郊外 …… 子供達の交通安全講習会(または自転車安全講習会)が行われ事故のないよう指導があります。

☆校庭開放 …… 日曜日の午前・午後で開放されます。

☆なりっこ祭り…… 模擬店、バザーの協力をします。



業平四丁目子ども会の活動



夜警の様子



横川二丁目北子供会

加入者数

12

墨田区少年団体連合会 50周年 にあたり、謹んでお祝いを申し上げます。

私達、横川二丁目北子供会は、年々会員世帯数が少なくなってきておりますが、会員の方々のご協力のもと、工夫をしながら楽しく行事を行っております。

会員の皆さん、友好的で、協力的で、とても楽しい”子供会”です。

昨今、ご近所付き合いが減少していると言われていた中、子供会活動は、繋がりのある一つの社会だと思っておりますので、これからも大切にしていきたいと思っております。

【昨年度の主な行事】

6月 ギャラクシティ-こども未来創造館 で遊ぼう

9月 祭礼、町会家族慰安会

12月 クリスマス会

3月 歓送迎会

どのイベントも、全員が参加でき、子供達の笑顔が素敵でした。

今までに、”映画鑑賞” や”ボーリング大会” も開催しました。

今後も、楽しいイベントを企画して、子供達の笑顔を見たいと思っております。

両国一丁目両一子ども会

加入者数

55

両一子ども会は夏の四大会で水泳とドッチボールの2つの優勝を獲得することができました。

水泳大会は何と三連覇です。子供たちが頑張る姿を間近で見ることができ、とても嬉しく思いました。

そして、9月には牛嶋講例祭がありました。子供たちは、若睦さんのご協力により子ども神輿を担ぎ、山車を引っ張り、たくさんのご褒美にみな大喜びでした。

3月にはレクリエーションとしてボーリングを楽しみます。



両国一丁目子ども会 会長 浅井 清隆

両国二丁目子ども会

加入者数

65

両国二丁目子ども会では、恒例の「夏の盆踊り大会」などの地域行事や、「各種スポーツ大会」などの七ヶ町合同行事への参加に加え、昨年は4年に一度の「亀戸天神大祭」に参加しました。レクリエーションでは、新企画として「食品サンプルの制作」（写真）を体験しました。両国の文化や歴史にふれながら、学校では学べない色々な経験が出来るようサポートします。今年は「牛嶋神社の小祭」が予定されておおり、皆さまの参加をお待ちしております。



両国二丁目子ども会 会長 丸山 智

両国三丁目子ども会

加入者数

64

両三子ども会では、5月に「クリーンキャンペーン」と「ふれあい交流会」を行いました。両三クラブと両三助け合い委員の皆様と一緒に、町内清掃と昔遊びを通して、親睦を深めます。町内を綺麗にした後は、郷土かるたや百人一首で町会の方々に読み手となって頂き、子供たちは熱い戦いを繰り広げました。けん玉やお手玉、輪投げのコツなどを教わり、上手いくと得意そうに見せに来る子供たちの姿も見られました。



両国三丁目子ども会 会長 齋田 貴弘
加藤 紀子
松永 夕美

両国四丁目子ども会

加入者数

97

両四子ども会では、毎年様々なイベントを行っています。
 特に昨年の八月には四年に一度の亀戸天神の大祭がありました。
 子神輿の亀戸天神への宮入には、他の子ども会からも応援頂きありがとうございました。
 大人の神輿の後に続き、子供たちも立派に子神輿を担いで頑張りました。
 大人顔負けの宮入で、大勢の観客からも大きな声援を頂きました。
 いろいろなことを経験し大きくなっていく子どもたちと、これからも一緒に思いで作りをした
 いと思います。



両国四丁目子ども会 会長 宮川 裕一

千歳一丁目子ども会

加入者数

54

今年度の千一子ども会は、5、6年生が13名と少し寂しい感じだったのですが、1年生12名が加入してにぎやかになり、水泳大会、Tボール大会、サッカー大会では低学年の頑張りもあり、いい結果を残す事が出来ました。主な行事は、春の交通指導、江島杉山神社大祭（3年に一度）、ラジオ体操、四大会、レクリエーション、餅つき大会、豆まき、歓送迎会等があります。今年は江島杉山神社大祭の年に当たり、模擬店も出ますのでどうぞ皆さんいらっしゃって下さい。これからもセケ町の一員として微力ながらより魅力ある両国小学校になるようお手伝いが出来たらと存じます。宜しくお願い致します。



千歳一丁目子ども会 会長 内田 みどり
 葛山 利重子
 若林 千恵

千歳中央町会子ども会

加入者数

53

千歳中央子ども会では、毎年12月に千歳公園で全学年の父母が参加して「餅つき大会」を行います。近所の方々と子供たちが一緒に餅つきを楽しみ、4種類の味付けのお餅やお雑煮を皆でいただきます。今年も4月にはさくら祭り、夏には子供たちの太鼓のリズムに合わせて盆踊りを楽しみました。地域の皆様のご協力があり活動出来ることを感謝し、来年も子供から大人まで楽しめるイベントを行っていききたいと思います。



千歳中央子ども会 会長 西野 英造

千歳三丁目千三子ども会

加入者数

67

千三子ども会では、子ども会専用のノボリを作成し、四大会や活動に使用したことで、活気が溢れるものとなりました。また、卒業生やご近所の小さなお子様へのイベントを周知させる目印にもなり、町内も賑わいました。恒例のレクリエーションでは、アスレチックやボーリングなど、子供たちがイベントを楽しみにしています。最後に、活動にご協力下さいました保護者の皆様に感謝申し上げます。



千歳三丁目子ども会 会長 熊倉 学志

本所四丁目子供会

加入者数

70

- 5月16日 本四子供会総会
- 5月19日 本四クリーンキャンペーン
- 6月26日 救命救急講習会
- 7月22日～26日 ラジオ体操
- 8月4日 連合子供会どじょうつかみ大会
- 8月19日・21日 プール開放
- 9月14日 牛嶋神社祭礼・小神輿
- 9月14日 牛嶋神社祭礼・夜店
- 11月10日 連合子供会スポーツラリー大会
- 11月12日 秋のレクリエーション
- 12月1日 本四もちつき大会
- 12月7日 クリスマス会
- 3月22日 6年生卒業祝い食事会



東駒形三丁目わらべ会

加入者数

50

ジュニアリーダーと東駒形三丁目わらべ会

墨少連結成五十周年、おめでとうございます。

わらべ会が墨少連に加盟したのは五年くらい前のことです。

ジュニアリーダーの派遣を依頼したのがきっかけです。

最近兄弟・姉妹が少ないので年齢の近い「おにいさん」や「おねえさん」に遊んでもらうような機会がほとんどありません。

あるクリスマス会でのことです。自分たちの親や親世代より上の人が扮装するサンタクロースに当惑する様子がありありと感じられました。

そこで、役員全員一致でジュニアリーダー派遣をお願いすることとなりました。

最初は、てれていましたが、次第にじゃれあい、心配になるくらいでした。

これからもジュニアリーダーの皆さん、よろしくお願いいたします。

その他行事では

横川小地区連合子供会での「ドジョウつかみ大会」「スポーツラリー大会」「プール教室」町会と合同で「牛嶋神社祭礼」「歳末パトロール」「防災訓練」「もちつき大会」などです。

さらなる墨少連の発展を祈念いたします。

東駒形三丁目わらべ会会長 小塚雄司

第三吾孺小学校東地区子ども会

加入者数

158

第三吾孺小学校学区5地区子ども会の中で東地区は2番目に大きい地区になります。

地域や学校の恒例行事への参加や、地区で イベントを開催する事で、子供達に楽しんでもらえるように頑張っています!!

日付	活動内容	日付	活動内容
4月26日	古紙回収	9月27日	古紙回収
4月26日	第1回班長会(社会福祉会館集会室)	10/14~12/25	自主登校
4月25日	PTA定期総会	10月18日	第6回班長会(八広中央集会所 多目的室)
5月17日	第2回班長会(社会福祉会館集会室)	10月19日	ロープジャンプX
5月17日	古紙回収	10月25日	古紙回収
5月18日	墨田区クリーンキャンペーン参加	11月8日	第7回班長会(社会福祉会館)
6月1日	新入生歓迎親子ミニスポーツ大会	11月15日	さんあづフェスタ
6月12日	新旧顔合わせ懇親会(三吾集会室)	11月22日	古紙回収
6月12日	ふれあい新聞番号発行	11月22日	第8回班長会(社会福祉会館)
6月15日	防災訓練(他地区参加)	12月6日	クリスマス会
6月21日	プール使用安全祈願(三吾小プール)	12月7日	5地区合同防災訓練
6月28日	古紙回収	12月27日	古紙回収
7/1~7/19	自主登校	12/26~12/30	町会歳末夜警参加
7月9日	第3回班長会(社会福祉会館集会室)	1月24日	古紙回収
7月13日	本所防災館にて防災訓練	1月29日	公選会(地区長・副地区長決め話し合い)
7月16日	地域集会	1月11日	寺中育成委員主催 タコ作り・タコあげ大会参加
7/22~8/5	ラジオ体操(三吾校庭)	1月29日	第1回公選会(来期地区長・副地区長決め)
7/23 7/24	盆踊り練習(三吾体育館)	2月7日	第9回班長会(社会福祉会館)
7月26日	古紙回収	2月18日	第2回公選会(来期地区長・副地区長決め)
7月26日	第4回班長会(三吾家庭科室)	2月21日	女性防災コンテスト事前訓練(八広三丁目町会として参加)
7/30 7/31 8/1	納涼盆踊り大会(三吾校庭)	2月28日	古紙回収
7/27 8/9 8/16	地区プール(三吾小プール)	2月28日	第10回班長会(社会福祉会館)
8月23日	古紙回収	3月21日	歓迎会(卒業生・新1年生)
8月23日	第5回班長会(社会福祉会館集会室)	3月28日	古紙回収
8月31日	5地区サマーフェア	3月28日	第10回班長会(社会福祉会館) ※班長引き継ぎ会
9月23日	秋イベント エブソン品川アクアスタジアム	3月29日	6年生を地区長が送り出す会(東京ドームシティ アトラクションズ)



第三吾孺小学校南地区子ども会

加入者数

191

第三吾孺小学校地区の一つで、
五地区の中の一番の大所帯、
八広二丁目南町会子ども会です。

行事に参加してくれるお子さんも多く、
いつも賑やかにこなっております。
夏のバスハイクでは千葉県富津海岸に行き、
地曳網体験・海苔付け体験をして、昼食は
バーベキューで大盛況でした。

クリスマス会では、玉入れゲームで盛り上がった後、スペシャルゲストのサンタクロースさんが
やってきて、子ども一人一人にプレゼントを手渡ししてくれました。子どもたちにとって思い出
に残る楽しいクリスマス会になったことと思います。

南子ども会では、子どもたちのために
楽しめるイベントをたくさん企画して
いきたいと考えています。

児童数 193名 ☆ 世帯数 152世帯

- 平成26年度年間行事
- ☆バスハイク ☆ラジオ体操 ☆盆踊り大会 ☆地区プール
 - ☆夏祭り ☆五地区合同サマーイベント ☆香取神社祭礼
 - ☆町会防災運動会 ☆さんあづフェスタ ☆クリスマス会
 - ☆町会歳末夜警 ☆餅つき大会 ☆歓迎会 ☆資源回収



第三吾嬬小学校北地区子ども会

加入者数

57

第三吾嬬小学校にある5つの子ども会のうちのひとつ、北地区子ども会です。私たちの子ども会では、小学生はもちろんのこと、幼児さんやお父さん・お母さん、さらには町会の方々と一緒に楽しい活動をしています。

*流しそうめんやすいかわりを行うサマーイベント

*お土産争奪クイズのクリスマス会

*ボーリング大会&歓送迎会

など、様々なイベントを行っています。

なんとといっても、一番のイベントは9月に行われる飛木稲荷神社の祭礼です。

子供みんなで山車と子神輿を担ぎ神社まで練り歩き、参拝をします。

夜はお母さん主体の夜店。金魚すくい、フランクフルト、かき氷、など約8店舗。

この夜店は形態は変化しつつも、なんと！50年以上も前から続いているのです。

北地区子ども会は児童数が少なく、こじんまりしていますが、その分みんなが顔見知りのアットホームなところが自慢です。

これからも町会と一緒に子ども会として地域密着の楽しい子ども会にしていきたいと思っています。



京一旭子ども会

加入者数

74

私たち「京一旭子ども会」は曳舟小学校に通学する児童を主として、京一旭町会及びその他の地域から構成されております。

子ども達が楽しく活動しながら、子ども達自身が育っていく事を目的として活動しております。

子ども会独自の活動としては、新入生歓迎会、納涼大会、芋煮会、3年毎のディズニーへのバスハイク等です。その他町会と合同でのもちつき会、防災訓練、女性防災コンテストへの参加等です。

また、曳舟小学校連合子ども会の行事として「新年子ども遊びの会&もちつき会」があります。

私たちの地域は再開発でのマンション建設においてかなり変貌し、新しい住民もかなり増えました。しかし町内の子どもたちは減少し、他町会からの子どもたちが増えました。

これからも昔からある下町人情を忘れず、地域一体となって子どもたちの笑顔と成長を見守っていきたく思います。



京一旭子ども会会長 西田知子

おひさま子供会

加入者数

31

墨田区6丁目で活動しております、おひさま子ども会です。

平成26年度の在籍会員数は、小学生が31名と会員数は少ないながらも皆で協力し合いながら和気あいあいと活動致しております。

年間の活動内容と致しましては、春・秋の交通安全運動での旗振りの見守り、クリーンキャンペーンへの参加、年4回の廃品回収、中川児童館主催の縁日のお手伝い、地域の方々とラジオ体操やお祭り、町会主催の防災訓練、そして年度末には子ども会の総会・歓送迎会を行っております。この他に郊外研修として、会員内での交流を図るべく子ども会会員家族参加のボーリング大会を企画して毎年楽しんで活動しております。

これからも会員共々、皆様のご協力を賜りつつ子ども会を盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞこれからも宜しくお願い申し上げます。



八広小学校地域連合子ども会

加入者数

588

墨少連と八広小 PTA の活動記録 ～墨少連 50 周年を祝して～

創立50周年おめでとうございます。長年にわたり八広小 PTA 活動にご協力いただきありがとうございます。墨少連と八広小 PTA の主な活動をご紹介します。

ロープジャンプ X (大なわとび大会)

- 平成16年度より校庭開放事業としてロープジャンプ X (大なわとび) 大会を開催
- 平成18年度には八広小チームは全国月間第一位を獲得しました。
- 現在、八広小での予選会を経て毎年30名の児童が墨田区大会に出場しています。決勝戦出場を目指して毎年奮闘しています。



夜の八広小まつり

- 平成26年度のPTA活動として「夜の八広小まつり」を開催しました。
- 「夜の校舎での肝試し」、「ゲーム(ストラックアウト、缶積み競争、八広小O×クイズ等)」、「すいとん」を八広小児童に楽しんでもらいました。
- 墨少連、ジュニアリーダーの皆様にもご協力いただき、児童、PTA ともに大変思い出深いイベントとなりました。ご協力いただきました事、感謝申し上げます。



隅田小学校PTA子ども会

加入者数

441

墨田区少年団体連合会創立50周年、大変におめでとうございます。

我が隅田小学校の児童も、バドミントン大会・夏休みのキャンプなど墨田区少年団体連合会の催し物にたくさんの方が参加し、楽しい思い出をつくらせていただいています。ありがとうございます。隅田小学校PTA子ども会の活動として、バドミントンクラブ、大きなイベントとして、お餅つきと隅小フェスタを開催しています。児童・保護者・教職員・地域の方々とのおいあいの場として毎回好評です。

《バドミントンクラブ》

隅田小学校バドミントン部を紹介します。毎月第2土曜日・毎週日曜日を活動日とし、毎週月曜日は自主練習の日としています。子供達は3年生から6年生までの男女で、学年の枠を超え、みんな仲良く楽しい雰囲気の中で活動しています。子供たちへの指導は、四人のコーチで行っております。練習は、初心者から始める子供たちが多いので、まずは基本的なラケットの持ち方・素振り・サーブ・フットワークを中心に指導し、体力向上に努めています。また、基礎打ち・ノック練習(バック打ち・スマッシュ等)を充実させながら、応用練習・ゲーム練習(主にシングルス)をやっています。子供たちは、上達に合わせて、Aチーム、Bチームに別れて練習しており、その中でどうすれば上手いスマッシュが打てるの?等、コーチ陣を困らせながら(汗)励んでいます。ゲーム練習では実際の試合形式で行い、主審・線審の練習を兼ねて、子供たちだけでゲームを進行させ緊張感を持ちながら、がんばっています。

《隅小フェスタ》

学年委員を中心に各学年の模擬店を開きます。保護者・児童からのお手伝いを募り、調理から販売までを皆で行います。売り子の子どもたちも大きな声でお客さんをお呼び楽しい思い出を作っています。

《お餅つき》

普段見ることの少なくなった臼と杵でお手伝いのお父さんたちが一生懸命突いている姿に待ちきれない様子も。醤油・きなこのおもちを皆うれしそうに食べてくれます。



梅若小PTA子ども会

加入者数

240



梅若小学校PTA子ども会



梅若フェスタでは、おでんを担当しました



梅若フェスタのアクティビティに参加して下さったジュニアリーダーのみなさん



昨年度の6年生を送る会(クリスマス会)のようす

梅若小学校PTA子ども会は全校児童と保護者を会員として活動しています。

ロープジャンプX、バドミントン大会にも毎年参加しています。

学校行事の際に、ジュニアリーダーを呼んで、イベントをさらに盛り上げて頂いています。

緑一丁目若葉会

加入者数

76

<主な活動内容>

5月	クリーンキャンペーン	町会内
6月	バスハイク	千葉
7月	プール解放	緑小学校
8月	亀戸天神祭大祭	町会内
12月	餅つき	町会内

緑三丁目子供会

加入者数

138

<主な活動内容>

6月	バスハイク	東京ディズニーランド
7月	ラジオ体操	緑3丁目内
8月	お祭り広場	緑3丁目内
11月	防災訓練	緑3丁目内
2月	6年生を送る会	アイビーボール向島

緑四丁目子供会

加入者数

142

<主な活動内容>

6月	バスハイク	東京ディズニーランド
7月	緑町連合町会盆踊り大会	緑小学校校庭
10月	防災訓練	横川親水公園
12月	夜警	町内
1月	賀詞交換会	町会会館

石二子供会

加入者数

36

<主な活動内容>

7月	町会プール	石二町会会館
8月	子供防犯パトロール	石二町会内
9月	牛嶋神社祭礼夜店	石二町会お祭り広場
12月	お餅つき	石二町会会館
3月	歓送迎会	

石三外手子供育成会

加入者数

34

<主な活動内容>

5月	クリーンキャンペーン	石三町内
7月	連合盆踊り大会	外出小学校
8月	連合子供会プール	外出小学校プール
12月	もちつき大会	石三会館
2月	お楽しみ会	アイビーボール向島

石四子供会外手地区部

加入者数

40

<主な活動内容>

5.12月	クリーンキャンペーン	町会内
7月	ソトデスターフィーバー	外出小学校
7月	サマーレクリエーション	東京ディズニーランド
11月	スクールゾーン点検	町会内
1月	親業勉強会	町会会館

石四子供会中学部

加入者数

33

<主な活動内容>

5.12月	クリーンキャンペーン	町内
7月	夏のレクリエーション	東京ディズニーランド
7.8.9月	盆踊り練習	石四町会会館
9月	牛嶋神社祭礼	町内
12月	町内夜警	町内

本所一丁目青少年育成部

加入者数

119

<主な活動内容>

6月	レクリエーション大会	スカイツリー水族館
7.8.12月	町内夜警	本所一丁目町内
7月	外出小連合盆踊大会	外出小校庭
8月	外出小連合水泳大会	外出小プール
9月	牛嶋神社祭礼	本所一丁目町内

本所二丁目子供育成会

加入者数

73

<主な活動内容>

6月	連合盆踊り太鼓練習	若宮公園御仮屋様
7月	連合子供会レクリエーション	外出小学校
7月	外出地区連合盆踊り	外出小学校
8月	レクリエーション	キッザニア
12月	本二餅つき大会	若宮公園御仮屋様

東駒形一丁目子供会

加入者数

41

<主な活動内容>

5月	船江神社祭礼	町内 船江神社
7月	連合子供会盆踊り	外出小学校
8月	演芸 奉納踊り練習	町会会館
11月	外出地区 防災訓練	外出小学校
12月	防災運動 火の用心夜回り	町内

横網子供会

加入者数

39

<主な活動内容>

5月	クリーンキャンペーン	横網町会内
7月	相撲部屋解放	
8月	地区対抗水泳大会	二葉小学校
10月	秋季レクリエーション	
12月	おもちつき大会	横網町会内

石原二丁目二葉子供会

加入者数

54

<主な活動内容>

5月	わんぱく相撲	墨田区総合体育館
6月	ボーリング大会	アイビーボール向島
8月	相撲部屋解放	
9月	牛嶋神社祭典	町会内
12月	もちつき大会	町会内

石三二葉子供育成会

加入者数

67

<主な活動内容>

6月	町会レクリエーション	三番瀬
7月	相撲部屋解放	九重部屋
8月	地区対抗水泳大会	二葉小学校
9月	牛嶋神社祭礼	町会内
3月	お楽しみ歓送迎会	町会会館

亀沢二丁目子供会

加入者数

56

<主な活動内容>

5月	潮干狩	千葉県木更津
8月	地区水泳大会	二葉小学校
10月	北斎まつり	町内
10月	レクリエーション	アイビーボール
12月	クリスマス会	町会会館

亀沢四丁目子供会

加入者数

83

<主な活動内容>

6月	春季レクリエーション	堅川中学校体育館
7月	交通安全 防犯教室	亀四町会会館
9月	牛嶋神社祭礼	町会内
10月	すみだ祭り 北斎まつり	区内
12月	町会餅つき大会	町内

向島五丁目西町会子供会

加入者数

81

<主な活動内容>

7月	町会レクリエーション	サマーランド
8月	すいか割り カレーライス昼食会	長命寺境内 町会会館
9月	牛嶋神社祭礼	町内
12月	もちつき大会	長命寺境内 町会会館
12月	クリスマス会	町会会館

吾妻橋二丁目少年部会

加入者数

49

<主な活動内容>

5月	クリーンキャンペーン	町会内
8月	連合どじょうつかみ	横川小学校
10月	吾妻橋フェスティバル	区内
2月	お餅つき大会	町会内
3月	ボウリング大会+入卒祝会	区内

向島一丁目児童会

加入者数

31

<主な活動内容>

6月	バスハイク	龍宮城 三日月
8月	墨中地区盆踊り（模擬店）	墨田中学校
8月	夏休み思い出会	向島一丁目町会会館
1月	餅つき	向島一丁目町会会館
3月	歓送迎会	向島一丁目町会会館

中之郷町会 中之郷子ども会

加入者数

32

<主な活動内容>

5月	新入生歓迎親睦会	ギャラクシティ西新井
9月	牛嶋神社 祭礼	区内
11月	バスハイク	都内
3月	6年生を送る会 ボウリング大会	アイビーボール向島

太平四丁目柳島子供会

加入者数

71

<主な活動内容>

5月	クリーンキャンペーン	あかしや公園 町内
7月	お楽しみ会	東宝シネマ錦糸町 他
9月	バスハイク	東京ディズニーリゾート
11月	もちつき大会	町会内
3月	6年生卒業を祝う会	東武レバントホテル

業平五丁目南子供会

加入者数

76

<主な活動内容>

5月	クリーンキャンペーン	町会内
7月	ラジオ体操	町会内
9月	町会祭礼	町会内
9月	レクリエーション	墨田区内
11月	防災訓練	本所防災館

業平五丁目北部町会子供会

加入者数

19

<主な活動内容>

5月	クリーンキャンペーン	業五北町内
7月	三町合同ラジオ体操	業五北町内
9月	町民まつり	業五北町内
12月	クリスマス行事	
3月	歓送迎会	神明橋集会所

業平三丁目北子供会

加入者数

15

<主な活動内容>

7月	ラジオ体操	業3資材置き場
8月	映画鑑賞	錦糸町の映画館
9月	牛嶋神社 祭礼	町会内
12月	子供会クリスマス会	業3資材置き場
12月	年末夜警	町会内

横一あおば子供会

加入者数

10

<主な活動内容>

7月	ラジオ体操	町会会館前
7月	夏休みレクリエーション	オリナス映画館
8月	家族慰安会	町会会館前
12月	年末夜回り	町会内

横川三丁目北部子供会

加入者数

22

<主な活動内容>

8月	ラジオ体操	柳島小学校小学校
9月	祭礼手伝い	町会内
10月	横三ファミリーフェスティバル	町会内（みどり公園）
3月	歓送迎会	横三集会所

押上一丁目子ども会

加入者数

17

<主な活動内容>

5月	子どものお話し合い会	押上一丁目町会会館
7月	お楽しみ会	押上一丁目町会会館
7月	ラジオ体操	押上一丁目町会会館前
8月	連合子供会行事	業平小学校
3月	歓送迎会	

押仲しらとり子供会

加入者数

3

<主な活動内容>

7月	ラジオ体操	町会会館前
9月	どじょうつかみ大会	業平小学校 校庭
9月	祭礼 模擬店	町会内
12月	クリスマス会	
3月	歓送迎会	町会会館

太平一丁目北子供会

加入者数

52

<主な活動内容>

7月	ラジオ体操	太平一丁目会館前
9月	祭礼（神輿巡行*模擬店）	法恩寺*町会内
12月	餅つき	法恩寺
12月	火の用心	太平一丁目町内
3月	新旧歓送迎会	太平一丁目会館

つばさ子供会

加入者数

28

<主な活動内容>

5月	業平音頭講習会	業平小学校体育館
7月	ラジオ体操	トミンハイム集会室
7月	サマーハイク	ダイバーシティスポッチャ
9月	横川一丁目慰安会	横一会館前
3月	歓送迎会	トミンハイム集会室

吾妻橋三丁目子供会

加入者数

50

<主な活動内容>

5月	防災体験学習会	東京臨界広域防災公園
7月	納涼会	町会内
8月	どじょうつかみ大会	横川小学校
11月	スポーツラリー	横川小学校
2月	ボーリング大会	アイビーボール

第三吾孺小学校西地区子ども会

加入者数

68

<主な活動内容>

5月	クリーンキャンペーン	町会内
7月	すもう大会	こんにゃく稲荷
7.8月	四町会盆踊り大会	第三吾孺小学校
11月	さんあづフェスタ	第三吾孺小学校
1月	寺中育成風揚げ大会	寺島中 荒川河川敷

第三吾孺小学校親和子供会

加入者数

35

<主な活動内容>

5月	クリーンキャンペーン	第三吾孺小学校
7月	ラジオ体操	第三吾孺小学校
8月	地区プール	第三吾孺小学校
12月	クリスマス会	第三吾孺小学校
3月	歓送迎会 ボーリング大会	第三吾孺小学校

小鳩子供会

加入者数

41

＜主な活動内容＞

6月	祭礼（神輿 山車）	宮元町会内
8月	納涼大会（ねぶた）	宮元町会内
9月	バスハイク	
11月	ボーリング大会	アイビーボール
3月	歓送迎会	一寺小学校

早起き子ども会

加入者数

21

＜主な活動内容＞

6月	白鬚神社大祭	神酒所 町内
7月	ラジオ体操	交通公園
8月	ボーリング大会	アイビーボール
11月	お楽しみ会	浅草
3月	卒業を祝う会 総会	東向島集会所

くすの木子供会

加入者数

19

＜主な活動内容＞

6月	白鬚神社祭礼	白鬚神社周辺
7.8月	ラジオ体操	百花公園
7月	ねぶた作り	百花会館
9月	日帰りバスハイク	墨田区内
12月	ボーリング大会	アイビーボール

曳舟小東子ども会

加入者数

173

＜主な活動内容＞

6月	祭礼お菓子配布	曳舟西ビューハイツ前
7月	どじょうつかみ	曳舟さくら公園
8月	映画会	曳舟小学校校庭
11月	秋季レクリエーション	東京ディズニーランド
1月	新年子供会	曳舟小学校

京島南子ども会

加入者数
116

<主な活動内容>

5月	クリーンキャンペーン	京島南町会地区
8月	夏祭り 盆踊り	京島南町会地区
9月	秋季レクリエーション	ディズニーシー
1月	出初式 もちつき大会	京島南町会地区
3月	6年生を送る会	東武ホテルレバント

あづま子ども会

加入者数
13

<主な活動内容>

5月	お楽しみ会	東京ディズニーランド
8月	宝通りフェスティバル	たから会館前
9月	飛木神社祭礼	京二町会内他
1月	新年子供会	曳舟小学校
3月	お別れ会	区内

立花五丁目東町会どんぐり子供会

加入者数
27

<主な活動内容>

7月	えんにち広場	なかよし公園
9月	祭礼及び盆踊り大会	町内全域 中川公園
10月	日帰り旅行	キッザニア
12月	歳末パトロール	町内全域
1月	新春餅つき大会	中川会館前

あひるの子 子供会

加入者数
14

<主な活動内容>

5月	あそび場点検 クリーンキャンペ	平井橋第一*二公園
7月	児童館えんにち広場	立花なかよし公園
8月	団地祭	平井橋第一公園

立花あづま町会小鳩子供会

加入者数

152

＜主な活動内容＞

7.8月	ラジオ体操 ソフトボール練習	東吾孺小学校校庭
8月	サマーフェスタ	東吾孺小学校校庭
8月	青少年育成ソフトボール大会	東吾孺小校庭 他
10月	高尾山ハイキング	高尾山
11月	ロープジャンプ×墨田大会	墨田区総合体育館
2月	バトミントン大会	墨田区総合体育館
3月	小鳩*さくら子供会バスツアー	サマーランド

立花四丁目町会さくら子供会

加入者数

146

＜主な活動内容＞

7月	ラジオ体操 ソフトボール練習	東吾孺小学校校庭
8月	立花四丁目盆踊り大会（夜店）	東吾孺小学校校庭
9月	育成ソフトボール大会	緑地少年野球場
2月	墨少連バトミントン大会	墨田区総合体育館
3月	日帰りバス旅行	東京サマーランド

クローバー子供会

加入者数

62

＜主な活動内容＞

7月	親子ボーリング大会	アイビーボール向島
8月	すいか割り大会	宮前橋公園
9月	香取神社お祭り手伝い	香取神社
9月	長寿祝賀会	中小企業センター
3月	歓送迎会役員引継ぎ	中小企業センター

エンゼル子供会

加入者数

46

＜主な活動内容＞

6月	ボーリング大会	アイビーボール
8月	盆踊り	押上小学校
8月	球技大会（ドッチボール）	押上小学校
9月	飛木稲荷神社 祭礼	神社 町会周辺
3月	歓送迎会	すみだ中小企業センター

あさひ子供会

加入者数

17

<主な活動内容>

8月	立花団地祭り	立花団地内プレイグラウンド
10月	ボーリング大会	アイビーボール
11月	立花フェスティバル	立花吾孀の森小学校校庭
12月	餅つき大会	自治会集会室 テラス
1月	鏡開き	自治会集会室

立花二丁目町会若草子供会

加入者数

8

<主な活動内容>

6月	映画鑑賞	区内
8月	若草子供会レクリエーション	区内
8月	ソフトボール大会	区内
12月	夜警	立花二丁目町会内
3月	若草子供会レクリエーション	立花二丁目町会会館

青空子供会

加入者数

25

<主な活動内容>

5月	クリーンキャンペーン	町会内
6月	ボーリング大会	アイビーボール向島
12月	年末防災巡回	町会内
1月	町会新年会	町会内
3月	対面式	立花児童館

立花南町会すみれ子供会

加入者数

70

<主な活動内容>

6月	七夕飾り	町会会館
8月	祭礼	町内会
10月	立花吾孀の森小フェスティバル	立花吾孀の森小学校
11月	バスハイク	神奈川県内
2月	餅つき大会	プリマドムス立花1階広場

墨少連加盟者団体名簿

緑 一 丁目 若葉会	向島五丁目西町会子供会	横川二丁目北子供会	小 鳩 子 供 会
緑 二 子 供 会	吾妻橋一丁目若竹子供会	横川三丁目北部子供会	早 起 き 子 ど も 会
緑 三 丁 目 子 供 会	吾妻橋二丁目少年部会	押上一丁目子ども会	くすの木子供会
緑 四 丁 目 子 供 会	向島一丁目児童会	押伸しらとり子供会	曳舟小東子ども会
石原一丁目子供会	中之郷町会 中之郷子ども会	太平一丁目北子供会	京 島 南 子 ど も 会
石 二 子 供 会	太平二丁目若草子供会	つばさ子供会	京 一 旭 子 ど も 会
石三外手子供育成会	太平四丁目柳島子供会	両国一丁目両一子ども会	あ づ ま 子 ど も 会
石四子供会外手地区部	横二仲よし子供会	両国二丁目子ども会	立花五丁目東町会とんぼり子供会
石四子供会 中学部	横川三丁目南部子供会	両国三丁目子ども会	お ひ さ ま 子 供 会
本所一丁目青少年育成部	横川五丁目南部子供会	両国四丁目子ども会	あ ひ る の 子 子 供 会
本所二丁目子供育成会	横川五丁目東部町会若葉会	千歳一丁目子ども会	立花あづま町会小鳩子供会
本所三丁目子供育成部	業平四丁目南部子供会	千歳中央町会子ども会	立花四丁目町会さくら子供会
東駒形一丁目子供会	業平五丁目南子供会	千歳三丁目千三子ども会	ク ロ ー バ ー 子 供 会
横 網 子 供 会	業平五丁目北部町会子供会	本所四丁目子供会	エ ン ゼ ル 子 供 会
石原二丁目二葉子供会	業一若竹子供会	吾妻橋三丁目子供会	あ さ ひ 子 供 会
石三二葉子供育成会	業平二丁目町会子供会	東駒形三丁目わらべ会	立花二丁目町会若草子供会
石四子供会二葉地区部	業二南子供会	第三吾妻小学校東地区子ども会	青 空 子 供 会
亀沢二丁目子供会	業平三丁目南子供会	第三吾妻小学校西地区子ども会	立花南町会すみれ子供会
亀 三 子 供 会	業平三丁目北子供会	第三吾妻小学校南地区子ども会	八広小学校地域連合子ども会
亀沢四丁目子供会	業平四丁目子供会	第三吾妻小学校北地区子ども会	隅田小学校PTA子ども会
太平三丁目子供会育成会	横一あおば子供会	第三吾妻小学校親和子供会	梅若小PTA子ども会

ジュニアリーダーの育成と活動

ポリシーをもって参加

平成二十六年年度修了生 望月 誠人



中学、高校と青春の六年間ジュニアリーダーを続けてきました。会長を二年間務めさせていただいたり、研修キャンプで実行委員長をやらせていただいたりしました。

たくさんのご経験をきた中で私は常に一つのポリシーがありました。それは「何のために研修へ参加しているのか」ということです。

リーダー一級になってから毎月一回開いてくださる研修会に目的をもって参加しないとすごくもったいないと感じました。ですから私は何事も明確な目的をもって研修に参加していききました。例えば「憧れのリーダーをよく見よう」とか「今日は10人の人と最低でも話そう」など何でも良いので目的をもった方がもっと楽しく研修が受けられるからです。

正直楽しいことばかりの六年間ではありませんでした。ですが私は六年間続けてこれたことに誇りを感じています。

四月からは社会へ出て働きます。六年間学んだことはきつとどこかで役に立つと思います。皆も六年間続けて、いつまでもこのJL研修会が続いていくことを願っています。

子どもが大好きに

平成二十六年年度修了生 有澤 直人



六年間を振り返って1番得たものは、子供との接し方です。

自分は子供と接することが苦手でした。でもジュニアリーダーの月例研修を通してどう接したら子供がなついてくれるのか、どう計画したら子供が楽しんでくれるのか、ということを学ばせていただきました。そして、墨少連が計画した大会の手伝いや各小学校での派遣、少年キャンプなどで子供と接する時に、月例研修で学んだことをいかせる場を作って下さり、そこで自分の力をスキルアップすることができました。

派遣やキャンプで子供と接することで子供が大好きになり、将来子供と関わる仕事に就きたいと思うようになり、このジュニアリーダー六年間を通して自分の将来の夢を見つけることができました。

ジュニアリーダー六年間の活動でたくさん経験させていただき、学ぶことができました。この六年間は自分の人生の中でとてもいいものになりました。

私の居場所

平成二十六年年度修了生 石田 珠恵



私がこの六年間で得たものは、「居場所」です。

私は中学校時代、学校の友達とうまくいかず一人孤立していました。そんな私を支えてくれたのはJLという存在です。いつ、どんな時でも温かく笑顔で迎えてくれる場所。私は学校よりもJLに行くほうが楽しくて、育成の方に「学校が優先だからね」と怒られたことを、つい昨日のように思い出します。

高校に入学し、JLの中で「迎えられる側」から「迎える側」に立場が変わりました。私なんかにはできるのだろうか。と、不安で潰されそうになった時、支えてくれたのはJLの先輩や同級生でした。自分では気付けなかった長所を教えてください。自分ではその長所を生かせるのかアドバイスもしてくれました。お互いに気づきあい、協力して団体を運営していく。こういった経験はJLだからできたのだと思います。

私は、六年間JLという優しく温かい居場所でした。皆さんのことを経験し学ばせていただくことができました。それもすべて墨少連の方や青少年委員の方、生涯学習課の方、そのほかたくさん

方々のご協力があったからだと思います。本当にありがとうございます。私は今年度で卒業をしますが、必ず何らかの形でJLに戻ってきたいと強く思っています。

六年間を通じてJLで学んだこと、大切な居場所があるということ。そのことを忘れずにこれからも頑張っていきたいと思えます。

6年間で得たもの

平成二十六年度修了生 上野 優



(この6年間で得たもの「人」という財産だと思えます。)

自分は内気な性格で人見知りが強くと関わるのが正直苦手でした。今もそうです。そんな気持ちをまぎらわせるために、自分から明るいキャラで誰とでも話しかけに行っていました。でも時々考えます。「こんな自分を好きでいてくれるのか?」「どっちの自分を好きでいてくれるのだろうか」「色んな所で色んな顔をしているのが疲れ、そんな自分が嫌いでした。

得意ことが有る訳でもなく、センスも趣味もなく、何ができるのか?と思えば何もできません。色々な事を挑戦してみました何が何をやるの

も中途半端ですぐに止め、逃げ出したことは何度もありました。

ある日、一つ頼み事を任せられ、その作業をやり終えた時に「達成感」を強く感じたことがありました。責任の上にあったのは「喜び」でした。それは一人で見ることはできません。だって何かをするのには必ず「人」と「人」が関わるからです。「人は人のために尽くす、尽くした分は自分に返ってくる」、人は鏡なんだと・・・。

この活動を通して「人のためになる」という事に気がきました。「人を喜ばせるためには?」「人を悲しませないためには?」「何度も怒られ、悩んだ事もあります。そのたびに自分を追い込みました。しかし、そんなことに周りの人は手を差しのべてこういうのです。

「大丈夫、一人じゃないから」と。優しい一言ですが辛い一言です。何故なら、自分の無力さを感じるからです。でも、困った時に協力してくれる仲間。辛い時に支え合ってくれる味方。時には厳しく叱ってくれる恩人。

そんな沢山の「人」にかこまれていたのだと私は思えます。全部が感謝でいっぱい大切な仲間だからです。

関わってきた沢山の仲間と恥じないように、少しずつお礼が返せるように、これからはしっかりと一歩ずつ少しずつ歩んでいきたいと思えます。

六年間を振り返って

平成二十六年度修了生 大場 純暉



私は六年間を振り返り、得たものは本当に多いと感じました。

私がジュニア・リーダーに入ったきっかけは、姉が入っていたことが一番の理由でした。しかし、続けていくに従い目標もできてきました。最初の目標は、積極的になることでした。

私は昔から消極的で意見も言えず、あまり楽しめませんでした。けれどそれでは、時間や先輩方の力や少しの勇気で少しずつ達成できました。そして次の目標は、尊敬する人物像を持ち、その人間になる努力をするということです。

私は今まで、先輩や育成の方々、地域の人々と出会い、尊敬できる人を多く見てきました。そして、このような人達になりたいと思いました。これはおそらく、一生の目標だと思います。しかし、一番大切なことだと思います。

この六年間で、得たものは私生活でも役立つ勇氣と、尊敬できる人達に出会えたことです。最後に同学年の仲間と一緒に活動できたことに感謝です!!

六年間のジュニアリーダー

平成二十六年卒業生 根里 拓磨



自分はジュニアリーダーの六年間を振り返ってみていろいろ感じたことがあります。まず、六年間続けてきて本当に良かったということ。高校生になり部活が忙しくなり、あまり研修に出ることはできませんでしたがその中でもたくさんの人とふれあうことができ楽しく研修できたことです。あまり、リーダー級らしいところは見せられませんでしたが自分のできることは少しはできたのではないかと思います。

次に仲間と協力することは大切だということです。いろいろな派遣などに参加してきて1人ではできないことをみんなでやって達成できた時、感じたのはこれでした。ジュニアリーダーはこういうのを大切にする集団なんだと常々感じてました。これからの人生においてもこれはとても大切で必要不可欠なものに違いないと確信しています。また六年間たくさんの方々にお世話になってきました。いろいろと迷惑をかけてしまったと思います。ここで培った経験や出会った仲間のことは忘れません。

この六年間は人生の中でかけがえない思い出になりました。この経験を糧にこれからの人生を

精進していきたいと思えます。本当にジュニアリーダーに関わる全ての人々に感謝します。本当にありがとうございました。

五年間で得たもの

平成二十六年卒業生 泉水 文絵



私がこの五年間で得たものは、大きく2つあります。それは「互いに刺激し、高め合うことのできる仲間」と「たくさんの方々の笑顔」です。

私たちは、企画を立てる中で意見を出し合い、反省会では互いを指摘し合ってきました。このようなことは、学校生活ではなかなか経験することはありません。だからこそ、このような貴重な仲間ができたことをとてもうれしく思います。

また、企画を通してみることでできたジュニアの仲間の笑顔や、子ども達の笑顔は格別なものでした。自分たちでイチから考え、組み立てた企画から笑顔が生まれることは、本当に嬉しかったです。そして子どもたちが楽しそうに、嬉しそうに笑っている顔がさらに好きになりました。

私はこの三月をもって卒業しますが、ジュニアの仲間にはそれぞれの大切なものを見つけ、次の子たちに繋いでいってほしいと思います。

やりきれた理由

平成二十六年卒業生 江原 弘



私は一時期ジュニア・リーダーに参加していませんでした。部活動や家の用事などが重なり、時間が作れなかったからです。

ある時、友人に「月例の活動に参加しろ」と言われて渋々行きました。そこで見たのは成長していた同世代の人たちでした。ジュニア・リーダーを盛り上げ、まとめて、引っぱっていました。それがとても眩しく思いました。しかしその成長の裏には、とても苦労していたのだと感じました。

私はみんなが感じた喜びも辛さも共有できないから戻れないと考えてしまいました。しかし、友人が「俺が掛け合ってくる」と言って周りの人たちを説得してくれました。

今、私がここにいるのはその友人をはじめ、私を支え、後押しをしてくださった人たちがいたからです。御迷惑をおかけしました。そして、ありがとうございました。

ジュニア・リーダーの活動 H26/4/1~27/3/31

I 区及び墨少連事業への協力

1	少年キャンプ（子ども会活性化事業）	8月9日～10日
2	すみだ青年協力会主催行事	9月21日
3	すみだまつり・こどもまつり	10月4日・5日
4	墨少連50周年記念事業「あそびの博覧会」	10月26日
5	東京都地区子ども会育成者研究協議会	11月24日
6	子ども会活性化事業（スポーツ大会）	2月22日
7	子ども会活性化事業「チャレンジしよう！ロープジャンプXV」	全7回

II 単位子ども会等への派遣

1	錦糸小学校子ども会	歓送迎会	4月13日
2	太平二丁目若草子ども会	新入生歓迎会	5月17日
3	八広地域プラザ運営協議会	お泊り防災体験	5月31日
4	緑小学校PTA	飯盒炊飯とレク	6月28日
5	業二南子供会	レクリエーション	7月12日
6	錦糸小学校PTA	錦糸フェスティバル	9月20日
7	業平小学校連合子ども会	なりっこまつり	10月18日
8	梅若小PTA	梅若フェスタ	11月2日
9	二葉小学校PTA	二葉小バザー	11月22日
10	横川5丁目東部町会若葉会	クリスマス会	12月13日
11	東駒形3丁目わらべ会	クリスマス会	12月20日
12	八広小学校PTA	迷路&チャレンジゲーム種目	1月24日
13	東駒形3丁目わらべ会	豆まき	2月1日
14	横川5丁目東部町会若葉会	お楽しみ会	2月14日
15	梅若小学校PTA子供会	子ども会イベント	2月14日
16	八広2丁目南子供会	お楽しみ会&迷路ほか	3月14日

III 指導実習

1	6月21日	梅若小学校
2	6月29日	二葉小学校
3	9月6日	隅田小学校
4	9月27日	曳舟小学校
5	11月29日	柳島小学校
6	2月28日	サブ・リーダー講習会（冬期）

*各会場で子どもたちに対してゲーム大会を実施。

ジュニア・リーダーの
育成にたずさわって

ジュニア・リーダーの活動の一つに派遣があります。

ここ数年ジュニア・リーダー（以下JLと略）の派遣を依頼する子ども会や学校が多くなっています。内容の多くは、歓送迎会やクリスマス会、PTAのフェスティバルなど・・・。

JLは、一年間の研修を通じて、ゲームの指導法、キャンプの知識、安全についての講義などを学びます。

派遣は、研修したことを実践する学習の場でもあるのです。

その派遣先から「子ども達が楽しかった。喜んでいました。」と言う声を聞くとうれしくなります。JLの活動を派遣や指導実習を通して、多くの方に知ってもらえるよう努力したいです。

また、学校・部活・バイト等、選抜の多い中でJLの研修会に入り、中学一年から高校三年生までの六年間を続けていくのは、大変なことだと思えます。でも、せっかくなので入ったのなら最後は、修了生として卒業できることを望みます。

墨田区少年団体連合会 金居 真澄

墨田区ジュニアリーダーズクラブ修了生名簿

藤巻 栄知	細田 桂子	増村 圭子	鈴木 啓一	昭和61年度	古沢 芳彦	今井 栄次	昭和60年度	大越 秀一	昭和59年度	小笠原貴子	光野 早苗	片岡 直仁	柳瀬 一正	今井 正人	櫻村 勝巳	山野辺紀子	関 泰正	昭和58年度	梶井 康江	吉田 勝	昭和57年度	桜沢 礼子	牧野 久代	吉葉 雅之	昭和56年度	小高 正巳	昭和53年度			
増村 巨夫	平成2年度	本間 純子	佐藤 新吾	山田 美輝	増川 順子	亀山 彰	谷澤 純一	堀 かおる	平成元年度	諸橋 祐子	広本 貴之	竹門 隆司	森 裕樹	佐藤 雅子	小林 哲治	脇島 桃子	昭和63年度	竹門 祥一	黒須 由佳	蟹和 恵子	南 香世子	伊東 妙子	神澤 恵織	池上 巖	岡部 勝子	昭和62年度	岡崎 一恵			
木村 智史	木村 智史	清水 雅代	宇津 昭男	川島 優子	斉藤かおり	浅野 愛子	平成5年度	郡 聡子	菅沢 美穂	沼田 典子	加藤 崇幸	伊東美智子	堀 ひとみ	小野塚智武	秋山 晴彦	小林 俊之	福岡 晃一	工藤 彰人	原田 紀幸	平成4年度	西城 智宏	永山 幹雄	野村 大樹	嘉門 真宏	中村 淳一	石井 幸恵	平成3年度	伊藤 俊弘	小端 英樹	木村 友二
今和泉賀世子	金子 正幸	佐々木孝子	平成10年度	秋山 健介	八木 夏江	北山 真平	平野 直人	広田 滋	平成9年度	今和泉卓也	吉羽 美恵	久保田 徹	森 愛実	田中 房江	阿曾健太郎	平林 秀敏	阿曾健太郎	平成8年度	中村 裕子	小林 美和	瀬川 知美	山本恵理子	平野 陽介	平成7年度	浅野 美香	板津 勉	荒井 優伸	秋山 昌宏	郡 崇征	平成6年度
小林 航	今井 哲平	斎藤真由美	金山玲雄奈	金子 豊	平成14年度	小林 香織	今 幸子	山谷 裕子	梁瀬 真裕	町田 麻美	高柳 実統	石川 裕亮	秋山 司	平成13年度	吉羽 彩	金子 幸弘	井垣 聡	多田 香織	倉田 あや	平成12年度	瀬川 夏美	平野 新	平林 邦哲	梁瀬 由記	小川 剛	平成11年度	石井 幹子	井垣由美子	吉羽小百合	
本多 久遠	有澤 研人	門脇 将	石田 康貴	平成21年度	根里 昭博	清水 宏	大平あかね	小山 映子	平成20年度	神田有貴乃	平成19年度	石川 拓磨	江川留美子	増山 祐哉	高橋ひなた	平成18年度	片桐 恭輔	大貫 美空	平野 涼	平成17年度	清水 孟紀	清水 幸子	梁瀬 文代	森 一樹	平成16年度	石川 憂佳里	梁瀬 文代	平成15年度		
				平成26年度	上野 優	石田 珠恵	有澤 直人	望月 誠人	大場 純暉	平成26年度	石井 利典	寺尾 侑子	大場 安純	大場 祐哉	高橋ひなた	平成24年度	長津 隆太	大島 広記	野本 紬	平成23年度	並木 沙織	中川 佳菜	板垣 晴香	石井真由美	平成22年度	中村 光希	中田 恭介	鷲尾 大樹		



子ども会活性化事業

子ども会活性化事業のあゆみ

教育委員会生涯学習課

1 はじまり

平成六年三月、墨少連役員、単位子ども会代表、青少年委員、ジュニア・リーダーOB、学識経験者などで構成された墨田区子ども会活性化検討委員会において、十月にも及び検討した結果、報告書「子ども会を考える」がまとめられました。この報告書の中で、「平成六年度を子ども会活性化に取り組む初年度とする。この年は墨少連の創立三十周年にあたるので、記念事業として魅力ある行事を実施し、区民の注目を集め活性化に向かう原動力として活用する。」と記載されたことを受けて、単年度事業として子ども会活性化イベントを実施することになりました。

墨少連、子ども会、PTA、ジュニア・リーダーなどで構成された実行委員会により、実際に実施されたイベントというのが「宝船の謎〜二番目に乗り込んだのは誰だ!?」です。これは、従来のイベントのように会場に赴いて参加する点のイベントではなく、墨田区の一部地域を面として使う街角RPGとして実施されました。このイベントには、総勢約千名もの参加があり大変好評であったことから、次年度以降も継続して子ども会活性化イベント事業として実施していくことになったのははじまりです。

2 マンネリ化との戦い

当初から実施してきた街角RPGは、マンネリ化を避けるために、平成十三年度をもって終了しました。そして、平成十四年度からは、子ども会活動へ新しい「あそび」を提供するという目的を掲げ「あそびの博覧会」を実施しました。子ども会育成者を主な対象として、来場した大人に新しい「あそび」を体験した上で持ち帰ってもらい、持ち帰った「あそび」を地域の子どもの会で活用してもらおうということを図った企画としました。この「あそびの博覧会」は平成十八年度まで実施しましたが、回数を重ねるうちに子ども会活動のマンネリを打破するために始まった「あそびの博覧会」自身がマンネリ化してしまうという事態になってしまいました。

このため、マンネリ化を打開すべき新しいイベントの企画を検討し、平成十九年度には「活性化しよう子ども会!」と題して、それまで、1つの会場で行われていた「あそびの博覧会」を南部、北部の2つ会場に分け、規模を縮小したうえで実施しました。また、各子ども会がどのような課題を抱えているのかを明らかにするために、単位子ども会への調査も実施しました。

平成二十年度には、「いっしょに楽しもう!子ども会」というタイトルで子ども会関係者に、新

たなレクリエーションを紹介するという「あそびの博覧会」のDNAを継いだイベントを実施しました。

平成二十一年度からは、これまでの「集める」という形から新しく「訪ねる」という形のイベントとして、各学校へ出向いて「ロープジャンプX」の体験会、記録会を実施しています。この「ロープジャンプX」は子ども会などでレクリエーション活動やイベントの中に簡単に取り入れられるレクリエーション種目です。

平成二十二年度からは、大人と子どもが楽しみながらも目標に向け練習に取り組み、真剣に記録に挑戦するため、目標となる大会として「ロープジャンプX!墨田区大会」を実施しています。

その後も、新しい企画として、「バドミントン大会」を平成二十四度から、「少年キャンプ」を平成二十五年度から実施する等して、子ども会活性化事業の充実に向けて取り組んでいます。

3 最後に

以上のように、墨少連を中心とした子ども会活性化事業実行委員会の熱意と創意工夫により、子ども会活性化事業は二十年に渡り発展を続けてきました。関係者のみなさまのご尽力に心より感謝申し上げます。

墨田区教育委員会としましては、今後も、地域の子どもたちの健やかな成長のため、区内の子ども会活動がますます発展していくよう、子ども会活性化事業への支援をしていきたいと思っております。

スポーツ大会（バドミントン）

平成七年度より長年にわたって開催してきましたスポーツ大会（バドミントン）は、平成二十四年度より子ども会活性化事業の一種目として実施しています。

小学生選手を対象としたバドミントン大会は少ないとの声もあり期待が高いため、のと思われま

子どもたちの明るい笑顔でコートが満たされる楽しい大会を目標に毎年実施しています。

● 平成22年3月14日

	男子	女子
優勝	一寺 ふじの木B	一寺 小鳩A
準優勝	東吾 さくら	東吾 立花小鳩B



● 平成23年3月5日

	男子	女子
優勝	八広 五吾連合A	東吾 さくらC
準優勝	一寺 ふじの木B	一寺 小鳩A



● 平成24年3月17日

	男子	女子
優勝	緑小A	一寺 小鳩A
準優勝	一寺 ふじの木A	八広小連合A



● 平成25年3月17日

	男子	女子
優勝	八広 C	一寺バド D
準優勝	菊川 B	一寺バド C



● 平成26年2月23日

	男子	女子
優勝	八広 A	一寺バドミントンE
準優勝	一寺バドミントン	東吾 立花小鳩A



● 平成27年2月22日

	男子	女子
優勝	隅田 B	一寺 2
準優勝	八広 C	一寺 1



ロープジャンプX

平成二十二年度から「チャレンジしよう！ロープジャンプX」と銘打って、レクリエーション活動やイベントの中に簡単に取り入れられる種目を紹介・体験してもらうことになりました。

子ども達が健やかに育つためには、子どもたちが生活体験・社会体験などの様々な体験をすること、地域で異年齢の子ども同士の交流や子どもと大人の交流が大切です。

これらを促進する役割を負うものとして子ども会に大きな期待が寄せられています。

「ロープジャンプX」を体験してもらうことにより、それぞれの地域で年間を通して目標を持って記録に挑戦し、大人と子どもの交流をよりいっそう深められることが期待できる催しです。墨田区内全ての地域で、大人と子どもたちが楽しみながら記録会が開かれることを期待します。

3月の墨少連「スポーツ大会」で上位のチームに表彰を行います。

第1回大会（平成22年11月13日）

順位	学校名	チーム名	代表者	予選	決勝	総合
1	二寺小	響 2010	後藤 彩花	1422P	630P	2052P
2	言問小	言問ファイターズ	藤巻 里奈	808P	928P	1736P
3	梅若小	ハッピーガールズ	長谷川 美優	747P	621P	1368P

第2回大会（平成23年11月20日）

順位	学校名	チーム名	代表者	予選	決勝	総合
1	言問小	言問ファイターズA	渡辺 真由	1120P	2421P	3541P
2	二寺小	二寺ファイターズ・ザ・9	安田 智慎	1890P	903P	2793P
3	二寺小	二寺ガンバース	島谷 葉那	856P	1029P	1885P

第3回大会（平成24年11月23日）

順位	学校名	チーム名	代表者	予選	決勝	総合
1	二寺小	二寺 ガンバース2号	島谷 葉那	1575P	1773P	3348P
2	二寺小	二寺 ファイターズ The Final	奥野 花奈	864P	2450P	3314P
3	言問小	言問 ファイターズ A	斉藤 聖斗	1287P	1035P	2322P

第4回大会（平成25年11月4日）

順位	学校名	チーム名	代表者	予選	決勝	総合
1	三吾小	三吾 オールスターズ	長浜 広貴	1520P	2080P	3600P
2	菊川小	菊小 ジュニアラビッツ	青柳 智子	777P	1015P	1792P
3	四吾小	チームよんあず2	小澤 実織	648P	776P	1424P

第5回大会（平成26年11月16日）

順位	学校名	チーム名	代表者	予選	決勝	総合
1	二寺小	二寺 轍X（エックス）	佐藤 あや	2484P	1908P	4392P
2	三吾小	それいけ！三吾ピーナッツ	永藤 彩	1848P	2190P	4038P
3	三吾小	それいけ三吾NO.1	永藤 彩	1584P	2270P	3854P



夏休み少年キャンプ

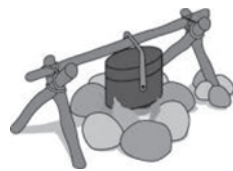
平成二十四年・二十五年と諸事情にて千葉県南房総市の大房岬少年自然の家にて実施されましたが、平成二十六年にはまた茨城県大洗海岸こどもの城にて「夏休み少年キャンプ」が行われました。

少年キャンプは参加する子供たちが、区内の異なる小学校や異学年の子供たちと共同生活や野外活動を通して自然を体感しながらふれあい、親睦を図りながら楽しさを感じてもらうことに重みを置いています。同時に引率していただく保護者の方に、子ども達が普段とは違う顔を覗かせる様子を見ていただくと共に、墨少連の活動を少しでも理解していただく機会となればと考えています。

プログラムや安全面においては、墨田区青年協力会（SSK）や墨田区ジュニアリーダーズクラブ（SJLC）の協力を得ながら細心の注意を払い行っております。

この少年キャンプを通じて、参加した子ども達が少し成長した顔で墨田区に戻ってきた様子がとても印象的でした。





《少年キャンプ参加者の声》

『8月24日から少年キャンプに行きました。いちばん楽しかったのは、カレー作りです。班のみんなで野菜を切ったり、ご飯を炊いたりしました。リーダーの「キノピー」がかまどで火をつけてくれました。かまどの近くはとても熱かったです。とてもおいしいカレーができました。ほかの学校の人も仲良くなれました。またキャンプに行きたいです。』

業平小 染谷萌菜
〈平成25年度〉

街角RPG・あそびの博覧会



レスキューすみだ
君がいのちをつなげ
シミュレーションラリー

《行方不明者》をさがし
ポイントを集め
ゴールをめざせ!

ゴールしたら、あたたかい
ほいどんが待ってるよ!

12月2日(日)
午前8:30

チームをつくって
さんかしよう!!

くわしくはウラを見てね

子ども会	参加人数	参加費
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円

平成13年12月2日
子ども会活性化推進事業
「レスキューすみだ・君が命をつなげ」



浦島太郎からの手紙
～時空を超えた謎～

ロール・プレイング・ゲーム
RPG
を
キミの街で!

参加者募集!

10月19日(日)
午前8:45～

申し込み用紙

子ども会	参加人数	参加費
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円

平成9年10月19日
子ども会活性化推進事業
「浦島太郎からの手紙」



第3回子ども会活性化推進事業
宝船の謎
～2部目に乗り込んだのは誰だ!?～

主催：あそびの会
共催：あそびの会
協賛：あそびの会
協力：あそびの会

申し込み用紙

子ども会	参加人数	参加費
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円

平成6年10月2日
子ども会活性化推進事業
「宝船の謎」



第14回子ども会活性化推進事業
あそびの博覧会
11月17日(日)

午前10時から午後3時まで(受付9:30から入場無料)

「こんなスポーツがあったの?」
「新をべる工作ができた!」
「パーティもたのしいよ」

第1会場 すみだ中小企業センター(受付1階)
第2会場 旧西郷小 校庭と体育館(受付2階)

申し込み用紙

子ども会	参加人数	参加費
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円

平成14年11月17日
子ども会活性化推進事業
「あそびの博覧会」



第10回子ども会活性化推進事業
迷探偵ぼくでん
そして'98秋

「探偵の謎、謎の探偵、謎の探偵」
「探偵の謎、謎の探偵、謎の探偵」

申し込み用紙

子ども会	参加人数	参加費
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円

平成10年11月8日
子ども会活性化推進事業
「迷探偵ぼくでん」



第7回子ども会活性化推進事業
サンタを救え
～お助けサンタは誰だ!?～

「お助けサンタは誰だ!?」
「お助けサンタは誰だ!?」

参加受付中

申し込み用紙

子ども会	参加人数	参加費
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円

平成7年10月22日
子ども会活性化推進事業
「サンタを救え」



第15回子ども会活性化推進事業
あそびの博覧会 PART II

こども会活性化推進事業
子ども会のレクリエーションやイベント行事のアイディア紹介
子どもたちと親戚やゲームやクイズなどを楽しめる

開催日時 12月14日(日)!!
すみだ中小企業センターにて
午前10時～午後3時

申し込み用紙

子ども会	参加人数	参加費
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円

平成15年12月14日
子ども会活性化推進事業
「あそびの博覧会 II」



RPGはテレビゲームだけじゃない
「迷探偵ぼくでん」に続く
子ども会活性化イベント!

魔海の決闘
～パイレーツ(海賊)の野望を砕け!～

申し込み用紙

子ども会	参加人数	参加費
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円

平成11年11月7日
子ども会活性化推進事業
「魔界の決闘」



子ども会活性化推進事業
VSくろつち
最後の決戦!

「VSくろつち最後の決戦!」
「VSくろつち最後の決戦!」

申し込み用紙

子ども会	参加人数	参加費
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円
あそびの会	10名	100円

平成8年10月20日
子ども会活性化推進事業
「VSくろつち最後の決戦」

朝日村わんぱく交流

わんぱく交流 イン あさひ

この事業は、国の「都市農村交流事業」の一環で、山形県朝日村（当時）から墨田区への要請を受け、墨少連主管で開始された。当初二年間は「農村」を重視し、八月に墨田区の児童が朝日村を訪問して牛の搾乳や野菜収穫などを体験、春休みには朝日村から墨田区を訪問していました。

三年目からは「雪国」を重視し、一月に朝日村で雪遊びやスキーを体験し、朝日村からは八月に墨田区で都市体験をしました。どちらもホームステイの形で交流してきたのだが、諸事情により平成二十二年で打ち切りとなってしまいました。

墨少連五十年の活動の中でも、この「わんぱく交流」は体験学習の見地からしても重要な役割を担ってきた事業でした。今後かたちを変えてでも復活されることを期待しています。

《朝日村作文集から》

1 「まちにまったスキー」



やっとなついた。山形に着いた。指折り数えていた生まれはじめてのスキー。

でもちよつと不安だなー。とまるお家の子は何？でもそんな不安はすぐふきとんだ。朝日村にちかづくにつれて今まで見たこともない大雪を見たからだ。もう気持ちはスキーに雪遊び。朝日村のお友達と雪合戦、どこからか飛んできた雪玉が背中にあたった。われた雪が首の中に入ってもつめたかった。今日とまる佐藤さん家のおじさん、おばさんが迎えにきて近くの温泉に連れて行ってくれた。次の日、まちにまったスキー気持ちはルンルン、でもすべれるようになるか？けがしないか？でもスキー板に乗った時にはわすれていた。初心者の皆に板の乗り方、すべり方をいねいに教えてもらった。午後にはリフトに乗って下まですべってきた。来年もきてもつともつとすべれるようになるんだ。

2 「楽しかったソリ遊び」

今日はいよいよ東京に帰る日。帰る時間まであと1時間くらいになっておじさんが「ソリで遊ぶかい」と聞いたのできみちゃん達とさんせいした。ぬれるのでスキーウエアーをきてビニール袋ですべった。すごいスピードでこわかった。登るときも足がうまってこわかった。おしりが雪に入って立ち上がれなくなりました。私は雪の上を泳ぐようにして元の所にもどった。4, 5回すべったらもう行くよーといわれ集まる場所に送ってもらった。とても楽しかった。



3 「そくしんぶつさま」

ぼくは、しんだい車ブルートレインに乗るのははじめてでした。ドキドキしました、ねる場所は下だったからガタンゴットンとうるさくてあまりねられませんでした。ついたら雪がすぐありました。こんなに雪があるのを見たのははじめてです。開発センターからバスでそくしんぶつの所に行きました。僕はほとけさまだとおもいました、でもそくしんぶつさまは、ミイラでした。びっくりしてしまいました。僕は朝日村の友だちとかまくらを作ったりソリ遊びをしたりとても楽しい2日間でした。

《それから25年》

心の財産となる

丸山 なつき（旧姓 百瀬）

私が初めてわんぱく交流に参加したのは小学校3年生の時でした。わんぱく交流を通して体験したことは私にとって初めてのことばかりで、大人になった今でも鮮明に思い出されます。

東京生まれの私には自分の身長以上もある雪を見るのは初めてで、雪に囲まれた趣ある伝統的な家のつくりがとも印象的でした。雪だるま作りや雪合戦を初めて体験し、わくわくしたことを覚えています。また、初めてスキーをしたのもこの交流でした。すべり方や転び方までひとつひとつ丁寧に教えてくださったので、どんどん滑れるようになり、何度も何度もリフトに乗り、寒いのも忘れ夢中になって滑っていたと思います。

そんなたくさんの思い出のあるわんぱく交流ですが、一番良いところは「人との触れ合い」だと思います。ホストファミリーとして快く受け入れてくださったご家族の方や、交流会を運営してくださった方々も参加した私たちを自分の子どものように可愛がってくださったことが今も記憶に残っています。

振り返ってみると、自分が経験したことのもれもが貴重で、大切な体験だったことと改めて感じています。このわんぱく交流を通して自分が今まで知らなかった世界を体験することが、必ず成長していく過程の中で素晴らしい心の財産となり自分の糧になることと思っています。是非、今後も続いていくことを願っています。



交流事業の再開を!!

西山 久美子（旧姓 葛原）

私は墨田区太平町に住む三十代女性で6歳と3歳の子どもがいます。小学生のとき朝日村との交流事業に参加しました。冬にかまくら作りをしたり、暖かい一部屋にみんなが集い「みかん釣り」楽しんだり、スキーを教えてもらったりと、本当に楽しく過ごしました。

また、夏には朝日村から墨田区へホームステイにきてもらい、「錦糸町の駅前、臭い」と言われたときはショック…！普段住んでいると気づかないけれど、自然の中で暮らしている子どもには、この臭いはくさく感じるのかと驚きました。

田舎のない私にとって、とても貴重な時間を過ごさせていただきました。そして、楽しんだ後は、子どもながらに「楽しいけど、やっぱり自分の住んでいる町(村)が好き！」と気持ちの確認をしたものです。

今、朝日村は町村合併でなくなり、また墨田区の子算削減などで交流事業自体もなくなってしまう、本当に残念です。上の子は今年小学生になります。田舎がありません。ですから特に、都会からはなれて自然豊かな中で生活する子どもたちとの交流をさせたい、そして子どもたち自身の世界を拡げてあげたい、と思っています。

交流事業の再開、発展を切に願います。



大雪ダルマ作り



平成二十一年度交流事業より

山形県鶴岡市朝日地域&墨田区ホームステイ交流が、墨田児童十四名、朝日の児童五名参加にて、平成二十二年一月九日(土)から十一日(月)まで行なわれました。

1日目、大鳥自然の家にて大雪ダルマ作り、きりたんぼ体験、火の神様によるキャンドルファイヤーと盛りだくさんの二日でした。

2日目には、湯殿山スキー場でのスキー体験後、各自ホームステイ先へとあつと言う間の三日間が過ぎてしまいました。

鶴岡市教育委員会朝日分室の方々をはじめ、朝日父母の会、花壇子の皆様、又、墨田の子ども達をホームステイさせていただいたご家庭の皆様、ありがとうございました。

火の神様によるキャンドルファイヤー



きりたんぼ体験



そば打ち体験

湯殿山スキー場でのスキー体験



資 料

墨田区少年団体連合会の概要

名称	墨田区少年団体連合会
事務局所在地	事務所 墨田区八広6-9-6 坂井会長宅
(上記以外の連絡先)	連絡所 墨田区吾妻橋1-23-20 墨田区教育委員会事務局生涯学習課青少年担当
加盟団体・会員数	82団体 7781名（安全共済会加入人数） <平成26年度>
設立年	昭和40年
経緯	昭和40年、子ども会の基本的なあり方を研究協議する機関の必要性から、当時の青少年委員の働きかけで、墨田区少年団体連絡協議会が発足。加盟団体は111団体であった。その後昭和44年、墨田区少年団体連合会と名称を変更し、現在に至っている。
目的・方針	墨田区内の子ども会、少年少女団体の連絡を密にし、各団体の向上発展と親睦友好を図ることを目的とする。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟団体の協調連絡に関すること（各種会議開催など） ・各団体の調査、研究、広報に関すること（「墨少連だより」発行など） ・少年団体の指導者養成、研修に関すること（育成者研修会開催など） ・少年団体合同事業に関すること（合同スポーツ大会、キャンプ実施など） ・ジュニア・リーダーの育成、認定に関すること（JL研修会の実施・単位子ども会への派遣等） ・その他、会の目的達成に必要なこと（安全会運営、子ども祭協力など）
組織構成及び選出方法 (役員)	<p>会長1名 副会長5名以内 会計4名以内 庶務若干名 監査2名 専門委員長3名</p> <p>会員中より選出し、総会で承認を受ける。理事会によって設置された選考委員会がその任にあたる 常任理事・理事加盟団体の小学校地域より各1名 (加盟団体の小学校地域より2名選出し、内1名を常任理事とする)</p> <p>《組織図》</p> <pre> graph TD subgraph Units U1[単位子ども会] U2[単位子ども会] U3[単位子ども会] U4[単位子ども会] end subgraph Districts D1[小学校地域常任理事・理事] D2[小学校地域常任理事・理事] end subgraph Board [理事会] H[会長] VP[副会長 5名] A[会計] end subgraph Committees [委員会] S[安全会運営委員会] I[調査広報委員会] R[研修委員会] T[育成委員会] end subgraph Secretariat [庶務] Sec[庶務] end U1 --> D1 U2 --> D1 U3 --> D2 U4 --> D2 D1 --> Board D2 --> Board Board --> VP Board --> A A --> Sec S --> VP I --> VP R --> VP T --> VP </pre>

平成27年度事業計画

1. 事業等

事業内容	日程	会場等	対象・運営者等
ジュニアリーダーの育成 月例研修 夏期研修キャンプ 宿泊研修 指導実習 JLOB組織への支援（SSK）	毎月 7/24～27 2回/年 6回/年	横川小・他 大洗子どもの城 水郷小見川少年自然の家 区内小学校（予定）	ジュニアリーダー （中学生・高校生） 区教育委員会 （生涯学習課） 役員/育成委員
役員・委員・育成者研修会	3回/年	区内小学校・他	役員/研修委員
墨少連表彰（団体、個人） 通常総会にて表彰状授与	5/30	総会会場	推薦により選考
安全会の運営 加入促進、説明会開催 事故報告による処理	4/7 随時	区役所	役員/ 安全会運営委員
墨少連結成50周年記念式典・祝賀会	6/27	曳舟文化センター	関係者
【子ども会活性化事業】 夏やすみ少年キャンプ 子ども会育成者研修会 ロープジャンプ体験・記録会 第6回ロープジャンプX墨田区大会 スポーツ大会（パドミット）	7/19・20 6～3月 6～3月 11/15 2/21	大洗子どもの城 区内各小学校 区内各小学校 墨田区総合体育館 墨田区総合体育館	区内小学生・他 区内育成者 区内小学生 区内小学生 区内小学生
こどもまつり協力	10/3・4	錦糸公園・総合体育館	役員、JL
青少年育成団体交流 青少年委員との懇談会 五者懇談会 江東五区少年団体代表者会議	9月 数回/年 10月末	区役所 区役所・他 葛飾区	役員、委員 役員 役員、区
墨少連だよりの発行、 ホームページ更新	数回/年 随時	活動紹介	編集/ 調査広報委員

2. 会議

事業内容	日程	会場等	対象者
東京都子ども会連合会理事会 東京都子ども会連合会総会 東京都子ども会連合会担当部会 安全共済会事務担当者会議 子ども会巡回支援 チャレンジ・ザ・ゲーム普及	数回/年 5/30 数回/年 2月末 随時 随時	都子連事務所 都子連事務所 都子連事務所 都子連事務所 区内小学校・他 区内小学校・他	役員（担当選任理事） 役員（担当選任理事） 役員（担当選任理事） 安全会運営委員 区内子ども会 区内子ども会

3. その他

会議目的	日程	会場等	対象者
総会 月例会議（役員会） 理事会 育成委員会 調査広報委員会 研修委員会 安全会運営委員会 江東五区少年団体代表者会議 青少年委員協議会懇談会 五者懇談会	5/30 毎月 随時 随時 随時 随時 随時 10月末 9月 数回/年	すみだ中小企業センター 業平小学校 業平小学校 未定 未定 未定 未定 葛飾区 区役所 区役所・他	来賓、会員 役員他 理事、役員他 役員、専門委員 役員、専門委員 役員、専門委員 役員、専門委員 役員代表者 役員、委員 役員

この10年墨少連を支えた育成者たち

飯塚 宣行	井垣 和子	石澤 貞郎	伊勢 節子	伊藤 英司	伊藤 政広	伊東 芳美	稲垣 康充	遠藤 ふみ枝	大久保久美子	大久保昌子	大島恵美子	岡田富美子	小澤 裕二	柏木 清枝	金居 真澄
後藤 典子	西城 敬功	佐伯 真弓	坂井 博	坂井 正廣	桜井 武	桜井 浩之	佐藤 智子	沢城 光一	清水 宏	染谷 早苗	宝田 満男	瀧井眞由美	滝澤 圭子	武川 つつみ	谷澤 忠之
中鉢由美子	根本 悦子	根本 隆浩	野城東亜子	馬場由美子	林 恒雄	堀口 義晃	村田 清隆	森澤 一男	安田 貴司	山下 清	山本 光一	米田 豊	渡辺 伸一		

(五十音順に掲載)

あとかぎ

結成五十周年の節目の年を迎え、ここに記念誌を発刊できますことを大変うれしく思います。

本記念誌の作成にあたり改めて、五十年の歴史を振り返ることができました。過去の資料を見るとその当時行われた行事の規模や参加人数の多さにおどろかされました。改めて諸先輩方の並々ならぬ熱意と活動に深い感動と感謝を覚えました。

社会の仕組みや価値観などが様々に変化し、子ども会や諸団体を取り巻く環境は大きく変わり始めてきました。墨少連は、時代に即した団体に進化できるよう時代の変化を柔軟に受け入れ、常に前進し続けなければならないと思います。各関係団体との連携を密にし情報を共有して、それを子ども会の活性化と更なる発展につなげられれば良いのかと考えます。

最後に当記念誌の編集にあたり、様々な資料を提供していただいた方、快く寄稿を引き受けていただいた方に心よりお礼申し上げます。そしてこの記念誌作成に終始ご尽力いただいた編集委員の方々にも厚くお礼申し上げます。

五十周年記念誌編集委員会

小澤 裕二
瀧井眞由美
中鉢由美子
佐伯 真弓
伊藤 政広
野城東亜子

